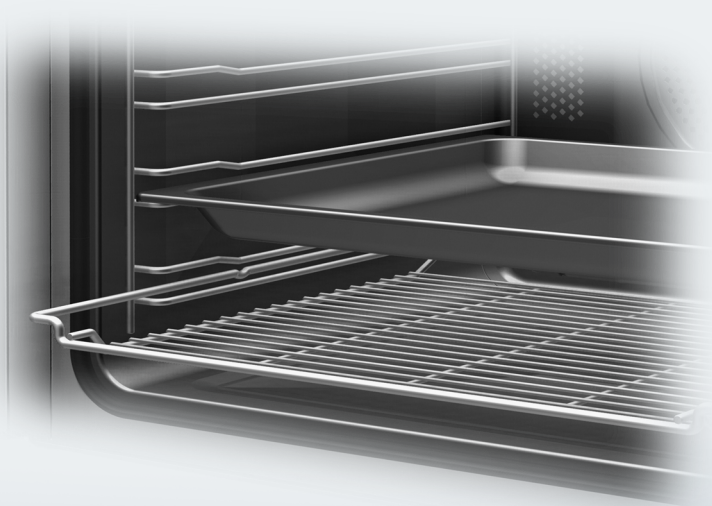







電気オーブンH6461BP 取扱説明書





事故や製品の破損を防ぐために、本製品の
設置時や、初めて使用される前に、この
取扱説明書を**必ず**お読みください




目次

安全上のご注意	7
環境保護のために	15
各部の名称	16
操作パネル	17
オン/オフ センサー ①	18
タッチセンサー	18
ディスプレイ	21
機能の説明	23
型番	23
型式表示シール	23
付属品	23
別売りの付属品・オプション品	23
棚受け	24
ストッパー付きのベーキングトレイ、ユニバーサルトレイおよびコンビラック	24
FlexiClip (フレキシクリップ) HFC72	25
FlexiClip (フレキシクリップ) の取り付け・取り外し	25
操作パネル	29
安全機能	29
システムロック 	29
切り忘れ防止	29
冷却ファン	29
通気口付きオーブドア	29
熱洗浄 (パイロリティック) 用ドアロック	29
パーフェクトクリーン加工	30
熱洗浄 (パイロリティック) 対応の付属品	30
はじめてお使いになる前に	31
基本の設定	31
初めてお使いのときの空焼き・スチーム噴射システムのすすぎ	33
設定	35
設定の一覧	35
「設定」メニューを開く	37
設定の確認と変更	37
言語 	37
現在時刻	38
表示	38

時刻表示.....	38
時計合わせ.....	38
日付.....	38
照明.....	38
ディスプレイ照度.....	39
アラーム音.....	39
メロディー.....	39
ソロ音.....	39
操作音.....	39
単位.....	40
重量.....	40
温度.....	40
冷却ファン作動.....	40
熱洗浄（パイロリティック）.....	41
推奨温度.....	41
安全機能.....	41
システムロック 	41
センサーキーロック.....	42
ショールームプログラム.....	42
デモモード.....	42
工場出荷時の設定.....	42
アラーム + キッチンタイマー 	43
キッチンタイマー  の使用.....	43
キッチンタイマーの設定.....	43
キッチンタイマーに設定された時間の変更.....	44
キッチンタイマーに設定された時間のキャンセル.....	44
調理モード	45
操作	50
簡単な操作.....	50
冷却ファン.....	50
オーブンの使用・その他の機能	51
調理モードの変更.....	51
温度の変更.....	52
急速加熱.....	53
オーブンの予熱.....	53

目次



調理時間の設定	54
プログラムの自動終了	54
プログラムの自動開始および自動終了	55
自動開始・自動終了使用時の調理プログラムの進行	55
入力した調理時間の変更	56
調理の中止	56
モイスタープラス 	57
モイスタープラス 	58
温度の設定	58
スチーム噴射回数設定	58
スチーム噴射のタイミング	59
水の取り込みの準備・開始	59
加熱方法の変更	60
自動蒸気注入	61
蒸気注入（1回から3回まで）	61
残った水の蒸発処理	62
残った水の蒸発処理をすぐに開始する	62
残った水の蒸発処理のスキップ	63
自動プログラム	64
食材や料理の一覧	64
自動プログラムの使用	64
自動プログラムの使用に関する注意	65
ユーザープログラム	66
ユーザープログラムの作成	66
ユーザープログラムの開始	68
ユーザープログラムの変更	69
調理プロセスの変更	69
名前の変更	70
ユーザープログラムの削除	71
ベーキング	72
ベーキング早見表に関する注意	73
ベーキング早見表	74
ロースト	78
ロースト早見表に関する注意	78
ロースト早見表	80

低温調理	82
グリル	84
グリル早見表に関する注意.....	85
グリル早見表.....	87
その他の調理方法	88
その他のプログラム 	88
ジェントルベーキング.....	88
解凍.....	89
乾燥.....	90
温め直し.....	91
イースト生地の発酵.....	91
ピザ.....	92
食器あたため.....	92
冷凍食品・加工食品.....	93
掃除とお手入れ	94
不適切な洗剤.....	94
ヒント.....	95
普通の汚れ.....	95
頑固な汚れ（FlexiClip を除く）.....	96
オープン庫内の熱洗浄（パイロリティック） 	97
熱洗浄（パイロリティック）の設定.....	97
熱洗浄（パイロリティック）の開始.....	98
熱洗浄（パイロリティック）の終了時.....	99
熱洗浄（パイロリティック）がキャンセルされた場合.....	100
オープンドアの取り外し.....	101
オープンドアの分解.....	102
オープンドアの取り付け.....	106
FlexiClip（フレキシクリップ）と棚受けの取り外し.....	107
上部ヒーター・グリルヒーターの引き下げ.....	108
スチーム噴射システムのカルキ除去 	109
カルキ除去プログラムの順序.....	109
準備.....	110
カルキ除去の実行.....	110

目次

こんなとき、どうしたらいい？.....	114
アフターサービス・型式表示シール.....	119
電源接続.....	120
取り付け図.....	121
本製品および設置場所の寸法.....	121
前面の寸法.....	123
オープンの設置.....	124

安全上のご注意

表示	表示の意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が中程度の傷害を負う可能性、もしくは物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをいいます。
- 中程度の傷害とは、治療に入院・長期の通院を要しないけが、やけど、感電などを指し、物的損害とは、財産の破損及び機器の損傷にかかわる拡大損害を指します。

図記号の例



禁止（してはいけないこと）

具体的な禁止内容は、図記号の中や文章で指示します



強制（必ずすること）

具体的な強制内容は、図記号の中や文章で指示します。



注意（警告を含む）

具体的な注意内容は、図記号の中や文章で指示します。

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の方々への危害や損害を未然に防止するため、注意事項をマークで表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 禁止行為	 潜在的な危険・警告・注意
 分解禁止	 感電注意
 水場、湿気の多い場所での使用禁止	 機器に損害を与える可能性のある場合
 接触禁止	 発火注意
 強制 / 指示	 高温注意
 電源接続に関する注意	 破裂注意
 必ずアース線を接続	

本製品は、法令の安全基準に適合しています。ただし、不適切な使用は、人体への危害および物的損害を招く恐れがあります。

本製品を設置し、初めてご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。お客様の安全を守り本製品の損傷も防ぐことができます。本取扱説明書には、設置、安全、使用、お手入れに関する重要な情報が記載されています。

安全上のご注意を遵守しないことによる損害については、当社は責任を負いません。

本書は大切に保管し、内容をよくご理解のうえご使用ください。本製品を譲渡する場合は必ず本取扱説明書を添付してください。

安全上のご注意



警告

本製品は、該当する安全要件に適合しています。ただし、正しくお使いにならないければ、人的傷害または物的損害の危険を招く場合があります。

事故や製品の破損を防ぐために、本製品を初めて使用される前に、本書を必ずお読みください。本書には、製品を正しく安全にお使いいただくための注意事項と、本製品の設置、操作、お手入れに関する重要な情報が記載されています。

本書は大切に保管し、本製品を譲渡する場合は必ず本書を添付してください。

正しい用途



本製品は、ご家庭での使用、またはそれに類似する職場や居住環境での使用を想定しています。



本製品は屋外での使用を想定していません。



本製品は家庭での食材調理、特にベーキング、ロースト、グリル、解凍や食材などの乾燥を目的としています。本製品をその他の目的で使用する場合は、メーカーによる保証対象外となり、危険性があります。



警告



身体的、知覚的、精神的に介護を要する方または、経験や知識が十分でなく、1人で安全に使用することが困難な方が本製品を使用する場合は、監督または指導のもとで行ってください。

1人でオーブンをを使う場合は、オープンの操作方法を明確に説明し、誤った使用による危険を理解したうえで安全に使用できることを確認してください。

お子様の安全



8才未満のお子様は、常に周囲に監督者がいる場合を除き、本製品に近づかないようにしてください。



8才以上のお子様は1人でオーブンをを使う場合は、オープンの操作方法を明確に説明し、誤った使用による危険を理解させたうえで安全に使用できることを確認してください。



お子様に1人で本製品の掃除やお手入れをさせないでください。



オープンの近くではお子様からは目を離さず、オーブンで遊ばせないようにしてください。



窒息する恐れがあります。プラスチックの包装などの梱包材は、乳幼児に近づけないでください。遊んでいる途中に、梱包材がからまったり、頭にかぶさり、窒息する恐れがあります。

警告



やけどの恐れがあります。



お子様の肌は、大人の肌よりも高温にとても弱いです。使用中は、ドアガラス、操作パネル、および通気口など、オープンの外側にある部品も非常に高温になります。お子様が、使用中の本製品に触れないように十分注意してください。



けがの恐れがあります。



オープンのドアが支えられる最大重量は 15 kg です。お子様が開いたオープンのドアでけがをする恐れがあります。お子様が、ドアの上に腰掛けたり、寄りかかったり、ぶら下がったりしないように十分注意してください。



やけどの恐れがあります。



お子様の肌は、大人の肌よりも高温にとても弱いです。熱洗浄（パイロリティック）中、オープンは通常の使用時よりもさらに高温になります。お子様が、熱洗浄（パイロリティック）中のオープンに触れないように十分注意してください。

警告

技術的安全性



改造はしないでください。無資格者による設置、メンテナンス、および修理はたいへん危険です。設置、メンテナンス、および修理はミレー認定の技術者のみが行うことができます。



損傷したオープンは絶対に使用しないでください。危険です。本製品の使用前に、損傷がないかをチェックしてください。



本製品の動作の信頼性および安全性は、電源に接続されている場合にのみ保障されます。




本製品の電気系統についての安全が保証されるためには、正しく接地（アース）されていなければなりません。これは製品を安全にお使いいただくための基本条件です。不明な場合は、資格のある電気工事業者によって、この条件が満たされているかどうかをテストしてください。





本製品の損傷を防ぐため、本製品の電源プラグをコンセントに差し込む前に、ご使用の電圧と定格消費電力が型式表示シールに記載された仕様に適合しているか確認して、しっかり差し込んでください。不明点がある場合は、有資格者にご相談ください。


安全上のご注意


警 告

 延長コードやマルチソケットを使用したたこ足配線で電源に接続しないでください。本製品に必要な安全性が保障されず、火災の恐れがあります。


 安全性を確保するため、取り付けが完了するまで本製品を使用しないでください。



 静止していない場所（例：船舶）で本製品を使用しないでください。



 配線、電気部品、または機械的部品の改造や修理はきわめて危険であり、故障を招く恐れがあります。

 本製品のキャビネットを開けないでください。






 本製品の保証期間中、製造元の認定を受けたサービス技術者が修理を行う必要があります。それ以外の人物が修理を行った場合、保証が無効になります。


  ミーレ製の純正交換部品が使用されている場合のみ、製造元により本製品の安全が保証されます。問題のある部品を交換する場合は、ミーレ製の純正部品のみを使用してください。




  電源コードが損傷した場合、あるいはオープンに電源コードが付属していない場合、ミーレ指定の修理技術者が電源コードを交換、接続する必要があります（「電源接続」を参照）。

警 告


 本製品の設置やメンテナンス、修理に際しては、必ず電源が完全に遮断されていることを確認してください。オープンの照明が故障している場合などは特にご注意ください（「こんなとき、どうしたらいい?」および「電源接続」を参照）。


  電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しないでください。感電、ショート、発火の原因になります。

 正しく機能するために、オープンには冷気を適切に供給する必要があります。冷気の供給が妨げられないようにしてください。例えば、設置キャビネット内に断熱材を貼ると、冷気の供給が妨げられてしまいます。また、固形燃料のコンロといった他の熱源により、冷気が過度に加熱されないようにしてください。

   例えばドアのような家具用パネルの背後にオープンを設置する場合、オープンの使用中にドアを閉めないようにしてください。熱および蒸気が閉じた家具用パネルの背後に蓄積され、オープン、設置キャビネットおよび床を損傷させる恐れがあります。オープンの温度が完全に下がるまで、ドアを閉めないでください。

警告

 燃えやすいもののそばに置いたり、熱に弱いものやカーテンなどの近くで使用しないでください。火災の恐れがあります。

 異常、故障時には直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると、火災、感電、けがに至る恐れがあります。



注意

正しい使用方法



やけどの恐れがあります。



オーブンは使用中、高温になります。ヒーター、オーブンの内部、加熱された食材、オーブンのアクセサリーに触れるとやけどの恐れがあります。

加熱したオーブンに食材を出し入れしたり、食材を裏返したり、棚を調整したりするときは、耐熱性の鍋つかみをご使用ください。



高い輻射熱によって本製品付近にあるものが発火することがあります。



本製品を暖房の目的で使用しないでください。



油は過熱により発火する恐れがあります。油を使って調理する際はオーブンから離れないでください。トレイに油を入れて使わないでください。

発火した場合は、水で消火しないでください。ただちにオーブンの電源スイッチを切り、ドアを閉めたままにして、火に酸素を供給しないようにしてください。



極端に長い調理時間は、料理の乾燥、または発火を招くことがあります。

推奨設定の調理時間を超える加熱はしないでください。









水のかかるところや、火気の近くでは使用しないでください。感電や漏電の原因になります。







安全上のご注意



⚠ 注意

 高温度のグリルを使用すると、急速に乾燥し発火する恐れのある食材があります。半調理済みパンの仕上げ加熱や、花やハーブの乾燥のためにグリルを使用しないでください。このような場合は、熱風加熱プラス  または上下加熱  を使用してください。


   アルコールを調理に使用する場合は、高温によってアルコールが蒸発することにご注意ください。蒸発したアルコールが、高温のヒーターに触れることで引火する恐れがあります。


  余熱を利用して、保温のために料理をオープン庫内に残しておくと、オープン内の結露や湿気により腐食や損傷を引き起こす恐れがあります。操作パネル、天板、設置キャビネットも損傷する恐れがあります。



  余熱を利用する場合には、オープンのスイッチを切らないでください。調理モード選択スイッチは設定されたままにして、温度切換スイッチを一番低い温度に設定してください。ファンは自動的にオンのままで、湿気を逃がします。



  料理をオープン庫内に入れておいたり、保温のために残しておいたりすると、料理が乾燥し、放出された湿気によりオープンに腐食や損傷を引き起こす恐れがあります。保温のために料理をオープン庫内に残しておく場合は、フタをしたままにしてください。




⚠ 注意


 熱の蓄積により、オープンの床面のほうろがひび割れたり砕けたりする恐れがあります。

 オープンの床面にアルミホイルなどを敷かないでください。ベーキングディッシュ、フライパン、鍋、トレイなどを庫内の床面に直接置かないでください。


  オープンの床面で容器などを引きずると、床面のほうろがが損傷する恐れがあります。オープンに鍋やフライパンを入れて使用する場合は、それらを庫内の床面で引きずらないようにしてください。



  高温の表面に液体をかけると蒸気が発生し、やけどの恐れがあります。温度の急激な変化によってほうろがが損傷することもあります。高温になったほうろがの表面に液体を直接かけないでください。


   モイスチャーを使用した調理処理中や、残った水の蒸発処理中に、発生する蒸気で重傷のやけどを負う恐れがあります。大量の蒸気が放出されている間や、残った水の蒸発処理中には、ドアを開けないでください。


 調理する食材全体に均一に熱が行き渡り、十分に加熱されることが重要です。均一に熱を行き渡らせるために、料理をかき混ぜたり、裏返したりしてください。


⚠ 注意



 オープンでの使用に適していないプラスチック容器は高温で溶け、オープンが損傷したり、発火する場合があります。


  調理にプラスチック容器を使用する場合は、各メーカーからオープンでの使用に適していると指定されたものを使用してください。各メーカーの使用指示に従ってください。

 食材の缶詰や瓶を密閉したままオープンで加熱しないでください。圧力が高まって破裂する恐れがあります。

 開いたオープンのドアでけがをしたり、つまづいたりする恐れがあります。不必要にドアを開けたままにしないでください。


 ドアが支えられる最大重量は、15 kg です。



  開いたオープンのドアに寄りかかったり、上に腰掛けたり、重いものを置かないでください。オープンのドアと本体との間に物が挟まらないように注意してください。オープンが損傷する恐れがあります。



 (衣類の乾燥など) 調理以外の目的で使用しないでください。過熱・異常動作して発火・やけどをすることがあります。


⚠ 注意



掃除とお手入れ


 製品を掃除するときは、スチームクリーナーは絶対に使用しないでください。

  蒸気が電気部品に達してショートの原因になることがあります。

  ガラス表面についた傷はガラスの破損の原因になります。研磨剤、硬いスポンジ、ブラシ、尖った金属のツールを使用して、ドアガラスを掃除しないでください。

 棚受けは、掃除のために取り外すことが可能です（「掃除とお手入れ」を参照）。元の場所に正しく取り付けてください。外したままオープンを使用しないでください。


  熱洗浄（パイロリティック）の開始前に、ひどい汚れがある場合は、取り除いてください。ひどい汚れが残っていると、煙が発生し、熱洗浄（パイロリティック）が自動的に停止する場合があります。


 お手入れは冷えてから行ってください。高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

安全上のご注意

注意

付属品



 本製品では、ミーレの純正部品および付属品を使用してください。他のメーカー製の部品や付属品を使用した場合は、保証対象外となり、このために生じる被害や損害の製造者責任は負いません。

 ベーキングディッシュHUB 5000-M、HUB 5001-M、HUB 5000-XLは、棚位置1に置かないでください。

オーブンの床面を破損する恐れがあります。オーブンの床面とベーキングディッシュの間の非常に小さな隙間により熱が蓄積し、ほうろうがひび割れたり欠けたりする恐れがあります。

ミーレのベーキングディッシュを棚位置1の上側のレール上に置かないでください。棚受けのストッパーでしっかりと固定できません。

通常は、棚位置2を使用します。

  熱洗浄（パイロリティック）用に設計されていない部品や付属品は、熱洗浄（パイロリティック）中に発生する熱により破損します。

熱洗浄（パイロリティック）の開始前に、それらの部品や付属品をオーブン庫内から取り出してください。この点は、オーブンと別々に購入した熱洗浄（パイロリティック）用に設計されていない部品や付属品にもあてはまります（「掃除とお手入れ」を参照）。

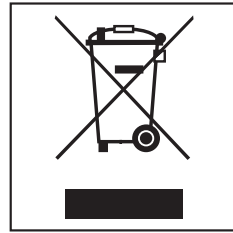
梱包材の廃棄処分

梱包材は輸送時に本製品を保護するために使用されています。梱包材は廃棄する際に環境への影響が少ない材質で作られています。これらはリサイクルしてください。

梱包材をリサイクルすれば、製造過程での原材料の使用が減り、埋め立て処理場へ廃棄する量も減ります。

使用済み製品の廃棄処分

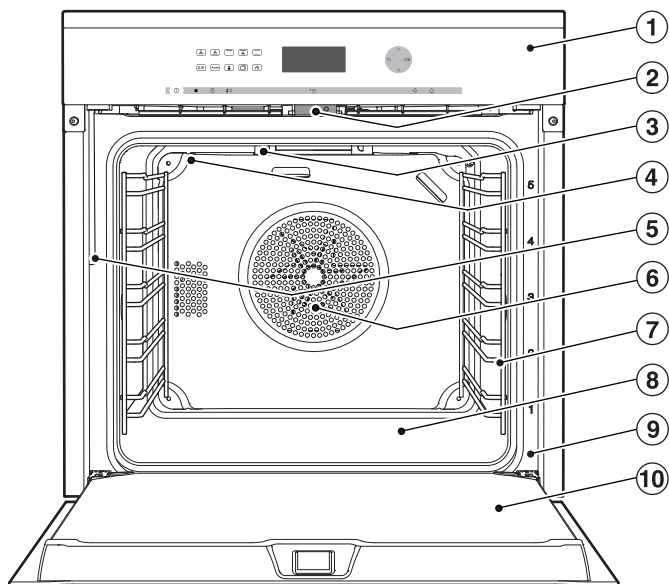
電気および電子機器の中には、多くの場合、貴重な物質が含まれています。また、取り扱いや廃棄方法を誤ると、人体や環境に悪影響を及ぼす恐れのある物質も含まれています。ただし、このような物質は製品が正常に機能するために不可欠なものです。したがって、不要になった製品は家庭ゴミとしては廃棄しないでください。



不要になった機器を廃棄する際には、お住まいの自治体の指定する廃棄物処理施設に廃棄を依頼してください。

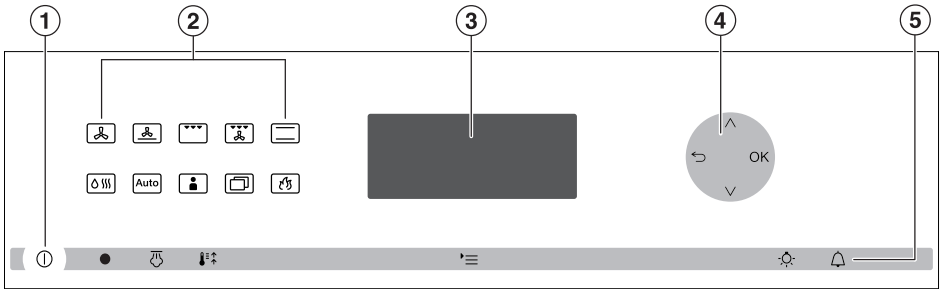
処分するまでの間、ご自宅で保管するときは、お子様に危険が及ばないように正しく管理してください。

各部の名称



- ① 操作パネル
- ② 熱洗浄（パイロリティック）用ドアロック
- ③ 上部ヒーター／グリルヒーター
- ④ スチーム給気口
- ⑤ スチーム噴射システムの給水パイプ
- ⑥ ファン吸気口（背面リングヒーター付き）
- ⑦ 棚受け× 5 段
- ⑧ オープンの床面（内部下部ヒーター付き）
- ⑨ フロントフレーム（型式表示シール付き）
- ⑩ オープンドア

操作パネル



- ① オン/オフセンサー ①
- ② プログラム選択センサー
- ③ ディスプレイ
- ④ 矢印センサー 上、下および OK、← センサー
- ⑤ 上、下、左、右、メニュー、明るさ、ベル センサー

操作パネル

オン/オフ センサー①











オン/オフ センサー①は、くぼみになっており、押すと反応します。

オープン/オフを切り替えるために使用します。

タッチセンサー

センサーは押すと反応します。センサーを押すたびに操作音が鳴ります。この操作音は鳴らないようにすることができます（「設定」－「操作音」を参照）。


















調理モード

-  熱風加熱プラス
-  熱風ベーキング
-  グリル
-  熱風グリル
-  上下加熱
-  モイスタープラス
-  自動プログラム
-  ユーザープログラム
-  他のプログラム
 - －オートロースト
 - －下部加熱
 - －ジェントルベーキング
 - －解凍
 - －乾燥
 - －温め直し
 - －食器あたため
 - －イースト生地の発酵
 - －ピザ
 - －カルキ除去
 - －設定
-  熱洗浄（パイロリティック）


その他のセンサー


センサー	機能	説明
△ ▽	オプションの一覧をスクロールする 値を変更する	矢印センサーは、オプションの一覧を上下にスクロールするために使用します。一覧をスクロールすると、オプションが次々に強調表示されます。 希望のオプションを選択するには、その前に強調表示する必要があります。 強調表示された値は、矢印センサーを使用して増加・減少させることができます。
OK	プログラムを選択し、設定を保存する	ディスプレイに強調表示されたプログラムは、OK センサーを押すことで選択できます。選択したプログラムは、その後に変更できます。 OK センサーを押して、変更を保存します。 情報がディスプレイに表示された場合は、OK センサーを押してメッセージを確認します。
↶	1つ前に戻る	
☰	設定を選択する	オープンの電源がオンのときに☰センサーを押すと、設定の一覧が表示されます。 画面に何も表示されていないときは、オープンをおんにしなければ、☰センサーは反応しません。 調理中にこのセンサーを押して、温度の変更や調理時間の設定ができます。

操作パネル


センサー	機能	説明
	オーブンの庫内照明のオン/オフを切り替える	時刻が表示されているとき、  センサーを押すことでオーブンの庫内照明のオン/オフを切り替えることができます。オーブンの掃除などに役立ちます。 画面に何も表示されていないときは、オーブンをオンにしなければ、  センサーは反応しません。オーブンの庫内照明は、調理プログラムの開始15秒後に消えます。常に照明が点灯するように設定を変えることもできます。
	キッチンタイマーを設定する	時刻が表示されているとき、卵をゆでるといったキッチンタイマーの時間をいつでも入力できます。 画面に何も表示されていないときは、オーブンをオンにしなければ、  センサーは反応しません。
	スチームを噴射する	モイスタープラスプログラム  用に、手動のスチーム噴射が選択されているとき、  センサーを押すことでスチームが噴射されます。スチーム噴射が可能な場合は、  センサーが点灯します。 スチームが噴射されているときは、  が表示されます。
	急速加熱のオン/オフを切り替える	熱風加熱プラス  、オートロースト  、モイスタープラスプログラム  、上下加熱  を使用しているとき、  センサーが点灯します。  センサーを押すことで、急速加熱のオン/オフを切り替えることができます（「オーブンの使用・その他の機能」－「急速加熱」を参照）。


ディスプレイ


ディスプレイは、時刻、プログラムに関する情報、温度、調理時間、自動プログラム、設定を表示するために使用します。情報やオプション一覧は、選択したプログラムに応じて、また  センサーを押すことでディスプレイに表示されます。

オン/オフ  センサーでオープン of 電源をオンにすると、プログラムを選択する画面が表示されます。

時刻が表示されており、プログラムをまだ選択していない場合、以下のオプションの一覧がディスプレイに表示されます。

- 言語 
- 現在時刻
- 日付
- 照明
- ディスプレイ照度
- アラーム音
- 操作音
- 単位
- 冷却ファン作動
- 熱洗浄（パイロリティック）
- 推奨温度
- 安全機能
- ショールームプログラム
- 工場出荷時設定













プログラムを選択すると ( を除く)、そのプログラム用のオプション一覧がディスプレイに表示されます。

- 温度
- 調理時間
- 終了（時間）
- 開始（時間）（「調理時間」／「終了（時間）」が設定されている場合のみ）
- ヒートアップ
- 加熱種類（モイスタチャープラス  の場合のみ）
- オプションを選択するには、ご希望のオプションが強調表示されるまで、矢印センサーで一覧をスクロールします。
- OK センサーを押して選択を確認します。

操作パネル

アイコン

文字とともに以下のアイコンがディスプレイに表示されます。

記号	説明
	キッチンタイマー
 	2つまたは3つのオプションが利用可能なとき、矢印がディスプレイの右側に表示されます。 矢印センサーを使用して一覧をスクロールします。 スクロールすると、オプションが次々に強調表示されます。
	3つ以上のオプションが利用可能なとき、バーがディスプレイの右側に表示されます。 矢印センサーを使用して一覧をスクロールします。 スクロールすると、オプションが次々に強調表示されます。
	一覧の最後は点線で示されています。さらに下へスクロールすると、一覧の始めの部分に戻ります。
	バーを使用して変更する設定もあります（例、ディスプレイの明るさ、音量、焼き目加減）。
	チェックマークが、現在選択されているオプションを示しています。
	この記号は、オープンの使用に関する追加の情報や指示があることを示しています。 情報にアクセスするにはOKセンサーを押します。
	システムロックが作動中です（「設定」－「安全機能」－「システムロック  」を参照）。 オープンは使用できません。
	蒸気注入
	カルキ除去

型番

本取扱説明書が説明の対象とするオープン
の型番は、表紙に記載されています。

型式表示シール


型式表示シールは、オープンドアを開くと見
えるフロントフレームに貼られています。

型式表示シールには、オープンの型番、製
造番号、および電気接続データ（電圧、周
波数、定格消費電力）が記載されています。

ご質問やトラブルに関して弊社コンタクト
センターにご連絡していただく場合のため
に、これらの情報はお手元に保存しておい
てください。

付属品

オープンには以下のものが同梱されています。

- 取扱説明書
- モイスチャープラス  および自動プ
ログラム用レシピ
- オープンをキャビネットに固定するネジ
- カルキ除去剤、クリップ付きのプラス
チックチューブ
- 베이킹トレイ、ユニバーサルトレ
イ、コンビラック

別売りの付属品・オプション品

付属品は型式により異なります。
本製品には、棚受け、トレイ、ラックが同
梱されています。型式により、以下の付属
品のうち、いくつかが同梱されている場合
があります。


ここに記載されている付属品、および掃除
とお手入れ用の各製品はすべて、ミーレ製
品用に作られています。

これらは Web サイト (www.miele-store.jp) か
ら、あるいはミーレ販売代理店でお買い求
めいただくことができます（ミーレ・ジャ
パン コンタクトセンターの情報は本書の最
後を参照）。

ご注文の際には、ご使用の機器の型番と、ア
クセサリーの型番をお知らせください。

機能の説明

棚受け

トレイ、コンビラック、ミーレオープンベーキングディッシュ用の棚受けが、庫内の両側 () に取り付けられています。

フロントフレームに棚位置の数字が刻印されています。

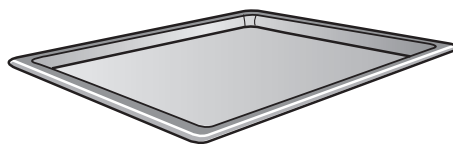
それぞれの段は上下 2 本のレールでできています。

- 例えばコンビラックなどの付属品は、2本のレールの間に挿し込みます。
- FlexiClip (フレキシクリップ) は下側のレールに取り付けます (別売り)。

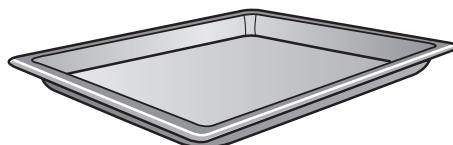
必要な場合、棚受けは、お手入れのために取り外すことができます (「掃除とお手入れ」を参照)。

ストッパー付きのベーキングトレイ、ユニバーサルトレイおよびコンビラック

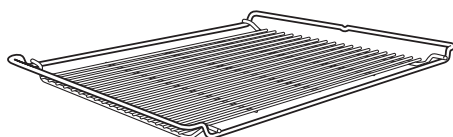
ベーキングトレイ HBB71 :



ユニバーサルトレイ HUBB71 :



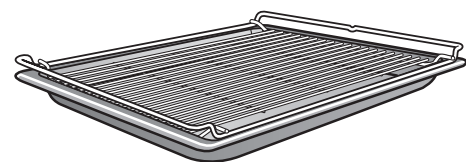
コンビラック HBBR72 :



これら付属品は、棚受けの 2 本のレールの間に挿し込みます。

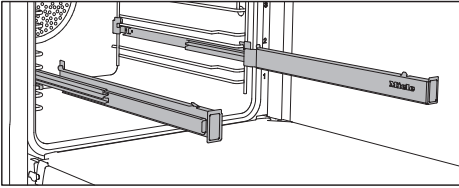
コンビラックは必ず上の図のように置いてください。

これらの付属品には、一部だけ引き出す必要がある場合に全体がずり落ちないように、短い方の縁の中間に安全ストッパーが付いています。



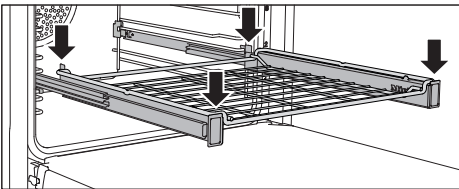
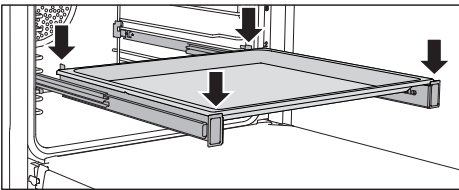
ユニバーサルトレイ上にコンビラックをのせて使用する場合は、トレイを棚受けのレールの間に挿し込むと、その上にコンビラックが自動的にスライドしてきます。

FlexiClip (フレキシクリップ) HFC72




FlexiClip (フレキシクリップ) は、どの棚位置にも使用できます。

FlexiClip (フレキシクリップ) は、付属品を置く前に、オープン内へ挿し込みます。付属品は、FlexiClip (フレキシクリップ) の両端のストッパーの間にきちんと収まり、すべり落ちることはありません。



FlexiClip (フレキシクリップ) が支えられる最大重量は 15 kg です。

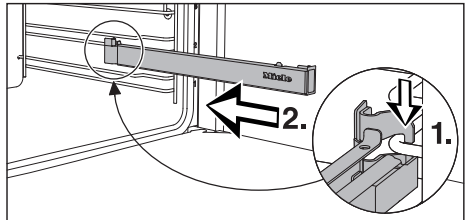
FlexiClip (フレキシクリップ) の取り付け・取り外し

 やけどの恐れがあります。オープンのヒーターがオフになっており、冷えていることを確認してください。

FlexiClip (フレキシクリップ) は、棚受けの2本のレールの間に取り付けます。

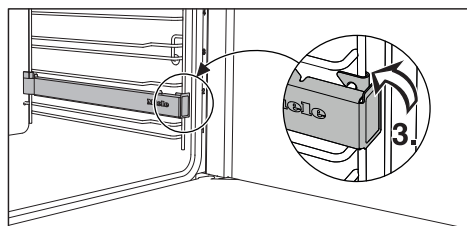
ミーレのロゴの入った FlexiClip (フレキシクリップ) を右側に取り付けます。

FlexiClip (フレキシクリップ) の取り付け中は、**伸ばさない**でください。



- FlexiClip (フレキシクリップ) を棚受けの下側のレールの前面に引っ掛け (1)、レールに沿ってオープン庫内へ挿し込みます (2)。

機能の説明

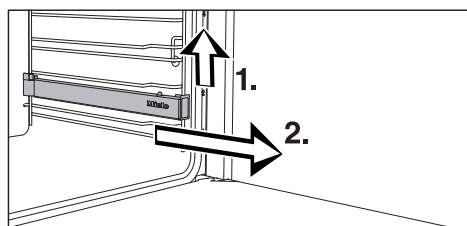


- 最後に FlexiClip (フレキシクリップ) を、図のように2本のうち下側のレールに固定します(3)。

取り付け後に、FlexiClip (フレキシクリップ) が引き出しづらい場合、一度強く引いてください。

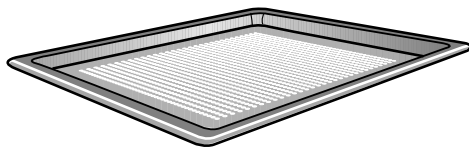
FlexiClip (フレキシクリップ) を取り外すには:

- FlexiClip (フレキシクリップ) を内側へ押せるところまで押します。



- 前面の FlexiClip (フレキシクリップ) を持ち上げ(1)、レールに沿って外へ引き出します(2)。

穴あきユニバーサルトレイ HBBL71



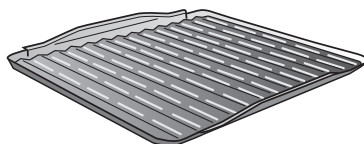
穴あきユニバーサルトレイは、新鮮なイースト生地やクワルク生地、パンやロールパンのベーキングに最適です。

小さな穴が開いてるので、食材の下側にも焼き目がつきます。

このトレイは果物や野菜の乾燥にも使用できます。

表面には、パーフェクトクリーンほうろう加工が施されています。

飛散防止天板 HGBB71

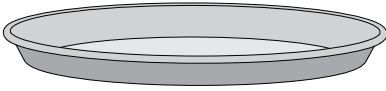


飛散防止天板は、ユニバーサルトレイにはめ込みます。

調理中の材料から出る汁は、飛散防止天板の下に溜まります。このため、汁が飛び散ってオープンが汚れることはありません。集まった汁を使って、グレービーソースを作ることができます。

表面には、パーフェクトクリーンほうろう加工が施されています。

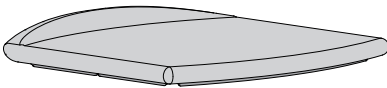
丸型ベーキングトレイ HBF 27-1



丸型ベーキングトレイは、ピザ、イースト菌を使った生地やメレンゲ生地で作るケーキ、各種タルト、焼き菓子、フラットブレッド、さらに冷凍ケーキや冷凍ピザの調理に適しています。

表面には、パーフェクトクリーンほうろう加工が施されています。

ベーキングストーン HBS 60



ベーキングストーンは、ピザやキッシュ、パン、ロールパン、塩味の効いたスナックなど、底をしっかりと焼きたい料理に最適です。

ベーキングストーンは、保温性に富む耐火れんが製で、釉薬がかけられています。

直接ラックの上に置いて使用します。

ベーキングストーンに食材を置いたり、取り出したりするための木製のスパチュラが付属されています。

HUB ベーキングディッシュ、HBD ベーキングディッシュ用フタ

ミーレのベーキングディッシュは、ラックの棚受けに直接挿し込むことができます。ラックと同じようにストッパーがついているため、引き出しすぎることがありません。汚れがこびり付きにくい加工が施されています。

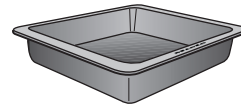
ベーキングディッシュには、奥行きが 22cm のものと 35cm のものがあります。高さと同幅はどちらも同じです。

各ベーキングディッシュ用のフタもご用意しています。フタは別売りです。

ご注文の際には、ご使用のミーレベーキングディッシュの型番をお知らせください。

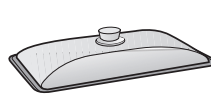
奥行き：22 cm
HUB5000-M
HUB5001-M*

奥行き：35 cm
HUB5000-XL



HBD 60-22

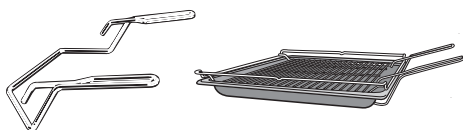
HBD 60-35



* IH クッカーで使用可能です。

機能の説明

ホルダー HEG



ユニバーサルトレイ、ベーキングトレイ、およびコンビラックをオープンに出し入れするのに便利です。上側の先のとがった部分(2か所)をラックまたはトレイに引っ掛け、U字型のサポートを下側に入れます。

カルキ除去剤 吸引キャップ付きのプラスチックチューブ



本製品のカルキを除去するために必要です。

ミーレマイクロファイバークロス

軽い汚れや指紋は、マイクロファイバークロスで簡単に落とすことができます。


操作パネル

ベーキング、ロースト、グリルのさまざまな調理モードを操作することに加え、操作パネルには以下の機能があります。

- － 時刻表示
- － キッチンタイマー
- － 調理プログラムのオン／オフを自動的に切り替えるタイマー
- － モイスチャープラスを使った調理
- － 自動プログラム
- － ユーザープログラムの作成
- － 設定のカスタマイズ

安全機能

システムロック

システムロックは、意図せずオーブンを使用しないようにするための機能です（「設定」－「安全機能」－「システムロック 」を参照）。

システムロックは、停電時にも作動し続けます。

切り忘れ防止

オーブンが極端に長い時間にわたって使用されている場合に自動的にスイッチを切ります。作動するまでの時間は、選択中のモードや機能によって異なります。

冷却ファン

調理プログラムを開始すると、冷却ファンが自動的に作動します。冷却ファンにより、庫内からの高温の空気が庫外の冷気と混じって冷却された後、オープンドアと操作パネルの間にある排気口を通して室内に出されます。

オープンの庫内や設置キャビネット内に蒸気が溜まったり、操作パネルが結露したりしないよう、調理プログラムの終了後も冷却ファンはしばらく運転を続けます。

オープン内の温度が十分低くなってから、冷却ファンは自動的に停止します。

通気口付きオープンドア

オープンドアのガラス板には熱反射コーティングが施されています。

オープンの作動中は、外側のガラス板が高温にならないようオープンドアを空気が通過します。

オープンドアは取り外して分解し、掃除することができます（「掃除とお手入れ」を参照）。

熱洗浄（パイロリティック）用ドアロック

安全性を確保するため、熱洗浄（パイロリティック）が開始すると同時にドアがロックされます。熱洗浄（パイロリティック）が終了しても、庫内の温度が 280 °C 未満に下がるまで、ドアロックは作動し続けます。

機能の説明

パーフェクトクリーン加工

パーフェクトクリーン加工された表面は、汚れがこびり付きにくく、定期的な掃除を行うことにより、通常のほうろろ加工よりも汚れが落としやすくなります。

パーフェクトクリーン加工された表面からは、調理した食材も簡単にはがれ、ベーキングやローストの後の汚れも簡単に落とせます。

パーフェクトクリーン加工面でも料理を切り分けられます。

ただし、セラミックナイフは使用しないでください。パーフェクトクリーン加工面に傷が付きます。

パーフェクトクリーン加工面のお手入れは、ガラスと同じです。

汚れがこびり付きにくく、掃除が簡単であるという利点を保持するために、「掃除とお手入れ」の指示をお読みください。

以下の付属品／別売りアクセサリ品にはすべて、パーフェクトクリーン加工が施されています。

- － ユニバーサルトレイ
- － ベーキングトレイ
- － 飛散防止天板
- － 穴あきユニバーサルトレイ
- － 丸型ベーキングトレイ

熱洗浄（パイロリティック）対応の付属品

以下の付属品は熱洗浄（パイロリティック）中にオープン内に残しておくことができます。

- － 棚受け
- － FlexiClip（フレキシクリップ）
- － コンビラック

詳細については、「掃除とお手入れ」を参照してください。

基本の設定



本製品は、設置キャビネットに正しく設置してから作動させてください。

オープン電源に接続すると、自動的にオンに切り替わります。

「Welcome」画面

「Welcome」とディスプレイに表示され、本製品の使用前に必要ないくつかの基本項目の設定を促すメッセージが表示されます。

- ディスプレイの指示に従ってください。

言語の設定

使用する言語を選択します：

- 使用する言語が強調表示されるまで、一覧をスクロールします。
- OK センサーを押します。

国の選択

- 言語によっては、使用する国が強調表示されるまで、一覧をスクロールしません。
- OK センサーを押します。

日付の設定

- 日付を選択します。
- OK センサーを押します。

時刻の設定

時刻を 24 時間表記で設定します。

- 時間と分を設定します。
- OK センサーを押します。

時刻を 12 時間表記で表示できます（「設定」－「現在時刻」－「時刻表示」を参照）。

はじめてお使いになる前に

時刻の表示

オーブンの電源がオフのときの、ディスプレイへの時刻の表示方法を選択します（「設定」－「現在時刻」－「表示」を参照）。

- － オン
ディスプレイに常に時刻が表示されます。
 - － オフ
省エネのため、時刻は表示されません。制限を受ける機能があります。
 - － 夜間電源オフ
5:00 から 23:00 の間だけディスプレイに時刻が表示されます。省エネのため、夜間は表示されません。
- 使用するオプションが強調表示されるまで、一覧をスクロールします。
 - OK センサーを押します。

エネルギー消費に関する情報がディスプレイに表示されます。

- OK センサーを押します。

「設定が問題なく終了しました」というメッセージがディスプレイに表示されます。

- OK センサーを押します。

オーブンが使用できるようになりました。


誤って別の言語を選択した場合には、「設定」－「言語」に記載されている手順に従い設定しなおしてください。

初めてお使いのときの空焼き・スチーム噴射システムのすずぎ

新しいオーブンを初めて使用すると、わずかに臭いが出ます。オーブン庫内に何も入れずに最低1時間オーブンを加熱すると、この臭いを消すことができます。同時にスチーム噴射システムをすすぐことをお勧めします。


空焼き中は、キッチンの換気を十分に行ってください。

また、臭いが家中に広がらないように、他の部屋へのドアを閉めてください。

- シールや保護シートが付いている場合は、オーブンや付属品から取り外します。
- 加熱する前に、まず湿らせた布でオーブン庫内をきれいに拭きます。これにより、保管時や開梱時にオーブン庫内に溜まった埃や梱包のかけらなどを取り除くことができます。
- 棚受けに FlexiClip (フレキシクリップ) (別売り) を取り付け、トレイやラックをすべて挿入します。
- 容器に約 100 ml の水道水を入れます。
- オーブンをオンにします。
- モイスチャープラス  を選択します。

推奨温度の 160°C が表示されます。

この温度は数秒後自動的にそのまま設定されます。次に、スチーム噴射を選択するオプションが表示されます。

温度を選択するオプションに戻るには、 を押します。

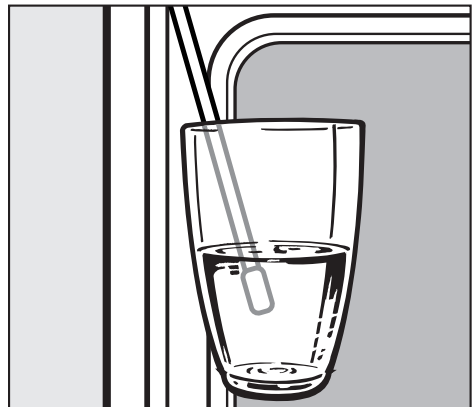
- 最大可能温度である 250°C に設定します。
- OK センサーを押します。

「自動蒸気注入」が強調表示されます。

- OK センサーを押します。

水の取り込みを促すメッセージが表示されます。

- ドアを開けます。
- 給水パイプを前方に引き出します (操作パネルの左下にあります)。



- 給水パイプの口を容器の水につけます。
- OK センサーを押します。

水の取り込みが始まります。

はじめてお使いになる前に

実際にオープン内に取り込まれる水量は、指定される必要水量より少ないため、容器に少量の水が残ります。

- 水の取り込みが終了したら、容器を取り出します。
- 「水の吸収が完了しました」という表示が現れます。確認してOKセンサーを押します。
- ドアを閉めます。

メッセージが消えます。

給水パイプに残った水がオープン内へ取り込まれているため、しばらくポンプ音が聞こえます。

オープンのヒーターがオンになります。

しばらくすると、スチームが自動的に噴射します。



けがの恐れがあります。

蒸気でやけどを負う恐れがあります。スチーム噴射中はオープンのドアを開けないでください。

オープン庫内に何も入れずにオープン
を最低1時間加熱します。

1時間後：


- オープンをオフにします。

空焼きのあと



やけどの恐れがあります。

オープンが冷めてから洗ってください。


- オープンをオンにします。
- オープン庫内の照明をオンにするために  を押します。
- オープンから付属品をすべて取り外し、洗います（「掃除とお手入れ」を参照）。
- きれいなスポンジとお湯に溶かした食器用台所洗剤で、または湿らせたマイクロファイバークロスで、オープン庫内を掃除します。
- 柔らかい布で拭き取ります。
- 庫内の照明とオープンをオフにします。

オープン庫内が完全に乾くまで、オープン
ドアを閉めないでください。

設定の一覧

調理プログラムの進行中は、設定内容を変更できません。

工場出荷時の初期設定は**太字**で表示されます。

設定	オプション	
言語 	[...] ドイツ語 英語 日本語 / ドイツ / ルクセンブルグ / / オーストラリア / 英国 /
現在時刻	表示 時刻表示 設定	オン / オフ / 夜間電源オフ 24 h / 12 h 現在時刻の設定
日付	日付の設定	
照明	オン 15 秒間オン	
ディスプレイ照度	暗く ■ ■ ■ ■ 二二 明るく	
アラーム音	さまざまなアラーム音を設定、変更できます。オフにすることもできます。 メロディー 音量(小) ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ 音量(大) ソロ音 低く ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ 二二二二二二 高く	
操作音	操作音の音量を調整できます。すべてオフにすることもできます。 音量(小) ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ 音量(大)	
単位	重量 温度	g ポンド / オンス °C °F

設定

設定	オプション	
冷却ファン作動	温度制御 時間制御	
熱洗浄 (パイロリティック)	推奨あり お知らせなし	
推奨温度	推奨温度は指定された範囲内で変更できます。	
安全機能	システムロック	オン オフ
	センサーキーロック	オン オフ
ショールームプログラム	デモモード	オン オフ
工場出荷時設定	設定 ユーザープログラム 推奨温度	リセット／リセットしない 削除／削除しない リセット／リセットしない

「設定」メニューを開く

- オープンをオンにします。
- '≡'を押します。

設定の一覧がディスプレイに表示されます。

設定を確認、変更できます。

オプションのとなりのチェックマーク✓は、その設定が有効であることを示します。

プログラムを選択するメニューへ戻るには、←または'≡'を押します。

設定の確認と変更

- オープンをオンにします。
- '≡'を押します。
- 使用する設定が強調表示されるまで、一覧をスクロールします。
- OK センサーを押します。
- 設定を変更します。
- OK センサーを押します。
- ←または'≡'を押します。

プログラムを選択するメニューへ戻るには、←または'≡'を押します。

言語

表示される言語、および国を設定できます。

選択し確認すると、選択した言語でメニューなどが表示されます。



ヒント： 誤って別の言語を選択した場合には、旗の記号に従い、「言語」メニューに戻ることができます。

設定

現在時刻

表示

オープンの電源がオフのときの、ディスプレイへの時刻の表示方法を選択します。

- オン
ディスプレイに常に時刻が表示されます。
- オフ
省エネのため、ディスプレイはオフに切り替わります。再びオープンを使用するには、オープンをオンにする必要があります。
キッチンタイマー  や、オープンの照明  を使用する場合にも、オープンをオンにする必要があります。
- 夜間電源オフ
省エネのため、5:00 から 23:00 の間だけディスプレイに時刻が表示されます。その他の時間には、時刻は表示されません。

時刻表示

時刻の表示を、24 時間表記と 12 時間表記から選択できます。

- 24 h
時刻が 24 時間表記で表示されます。
- 12 h (am / pm)
時刻が 12 時間表記で表示されます。

時計合わせ


「時」と「分」を設定します。

停電の場合でも、電源が復旧すれば現在時刻は再び表示されます。時刻はメモリに約 200 時間保存されます。

日付

日付を設定します。

照明

- オン
調理時間が完了するまで、オープン庫内の照明は点灯しています。
- 15 秒間オン
オープンの照明は、調理プログラム開始から 15 秒後にオフに切り替わります。
 を押すと、さらに 15 秒間照明が点灯します。

ディスプレイ照度

ディスプレイの明るさは、バーの 7 つの区分で表されます。



∨ センサーを使用してディスプレイを暗くします。また ∧ センサーを使用してディスプレイを明るくします。

アラーム音

メロディー

プログラムの終了時には、メロディーが間をおいて数回流れます。

メロディーの音量は、バーの 7 つの区分で表されます。



∨ センサーを使用して音量を下げます。また ∧ センサーを使用して音量を上げます。

音量を最大にするには、すべての区分を黒く反転させます。

黒く反転している区分がない場合、音量レベルはゼロです。

ソロ音

プログラムの終了時には、しばらくの間連続音が鳴ります。

連続音の高さは、バーの区分で表されます。



∨ ∧ センサーを使用して、音の高さを変更します。

操作音

操作音の音量レベルは、バーの 7 つの区分で表されます。



∨ センサーを使用して音量を下げます。また ∧ センサーを使用して音量を上げます。

音量を最大にするには、すべての区分を黒く反転させます。

黒く反転している区分がない場合、音量レベルはゼロです。

設定

単位

重量

- g
自動プログラム内の重量が、グラムで設定されます。
- ポンド／オンス
自動プログラム内の重量が、ポンドおよびオンスで設定されます。

温度

- °C
温度が摂氏で表示されます。
- °F
温度が華氏で表示されます。

冷却ファン作動

オープンの庫内や設置キャビネット内に蒸気が溜まったり、操作パネルが結露したりしないよう、オープンのスイッチを切った後も、冷却ファンはしばらく運転を続けます。

- 温度制御
庫内の温度が約 70 °C 未満に下がると、冷却ファンは自動的に止まります。
- 時間制御
冷却ファンは約 25 分後に止まります。

冷却ファンを時間制御する場合は、料理を保温目的でオープン内に放置しないでください。

オープン庫内の湿気が高まり、操作パネルや周囲にあるキッチン家具に結露が発生し、天板の下に水分が溜まる恐れがあります。

結露によって、設置キャビネットや天板の損傷、オープン庫内のさびにつながる恐れがあります。

熱洗浄（パイロリティック）

- － 推奨あり
熱洗浄（パイロリティック）の実施を促すメッセージがディスプレイに表示されます。
- － お知らせなし
熱洗浄（パイロリティック）の実施を促すメッセージは表示されません。

推奨温度

さまざまな温度で調理することが多い場合には、推奨温度の変更が役立ちます。

この項目を選択すると、調理モードの一覧がディスプレイに表示されます。

使用するプログラムを選択します。推奨温度が、変更可能な範囲と一緒に強調表示されます。

▼センサーを使用して推奨温度を下げます。
また ▲センサーを使用して推奨温度を上げます。

安全機能

システムロック

システムロックは、誤ってオープンをオンにしないようにするための機能です。

システムロックは、停電時にも作動し続けます。

「オン」を選択し、システムロックを作動させます。

- － オン
システムロックは作動中です。オープンを使用する場合は、OK センサーを 6 秒間以上押し続けます。

システムロックが作動中でも、キッチンタイマーは使用できます。

- － オフ
システムロックは停止中です。通常どおりオープンを使用できます。

設定

センサーキーロック

センサーキーロックは、調理中に誤ってオフにされたり、設定を変えられたりしないようにするための機能です。

センサーキーロックが作動すると、調理プログラム中はセンサーを押すことができません。

- オン
センサーキーロックは作動中です。
センサーを使用する場合は、OK センサーを 6 秒間以上押し続けます。センサーキーロックは少しの間、無効になります。
- オフ
センサーキーロックは無効です。すべてのセンサーは通常通り、押すと反応します。

ショールームプログラム

ショールームでヒーターを作動させずに本製品のデモンストレーションを行うための機能です。このプログラムは、ご家庭で使用しないでください。

デモモード

- オン
OK センサーを 4 秒間以上押し続け、デモモードを作動させます。

デモモードが作動中は、オープンの電源をオンにすると「デモモードオン。機器はヒートアップしません。」とディスプレイに表示されます。

- オフ
OK センサーを 4 秒間以上押し続け、デモモードを停止させます。オープンは通常どおりお使いいただけます。

工場出荷時の設定


- 設定
変更したすべての設定を、工場出荷時の初期値に戻します。
- ユーザープログラム
すべてのユーザープログラムは削除されます。
- 推奨温度
変更した推奨温度を、工場出荷時の初期値に戻します。

キッチンタイマー△の使用

キッチンタイマーを使用して、卵をゆでるといったキッチンでの他の作業時間を計ることができます。

開始時間と終了時間が設定された調理プログラムと同時に、キッチンタイマーを使用することができます。例えば、料理をかき混ぜる、調味料を加えるなどのタイミングを忘れないように使用できます。

キッチンタイマーは、最大9時間59分55秒まで設定できます。

ヒント: モイスチャープラス  で、スチームを噴射するタイミングを逃さないために、キッチンタイマーを使用すると便利です。

キッチンタイマーの設定

使用例:

ゆで卵を作るためには、キッチンタイマーの時間を6分20秒に設定します。

「現在時刻」 - 「表示」 - 「オフ」が設定されている場合、キッチンタイマーを設定する前に、オーブンをオンにする必要があります。オーブンの電源がオフになると、ディスプレイに時間がカウントダウン表示されます。

■ △ を押します。

「0:00:00」と表示されます(時間:分:秒)。時間のブロックが明るくなります。

■ OK センサーを押します。

時間が保存され、分のブロックが明るくなります。

■ 「06」と表示されるまで、矢印センサーを押します。

■ OK センサーを押します。

分が保存され、秒のブロックが明るくなります。

■ 「20」と表示されるまで、矢印センサーを押します。

■ OK センサーを押します。



キッチンタイマーの時間が保存されました。

オーブンの電源をオフにすると、ディスプレイに時間がカウントダウン表示されます。

同時に調理プログラムが実行中の場合、キッチンタイマーの時間はディスプレイの下部に表示されます。


アラーム + キッチンタイマー

キッチンタイマーの時間が終了したら

-  が点滅します。
- ディスプレイに時間がカウントアップ表示されます。
- アラーム音が鳴るように設定されている場合（「設定」 - 「アラーム音」を参照）は、アラーム音が鳴ります。
-  を押します。


アラーム音が停止し、ディスプレイのマークは消えます。

キッチンタイマーに設定された時間の 変更

-  を押します。
「キッチンタイマー」と表示され、「変更」が強調表示されます。
- OK センサーを押します。
選択したキッチンタイマーの時間が表示されます。
- キッチンタイマーに設定された時間を変更します。
- OK センサーを押します。

変更したキッチンタイマーの時間が保存されました。


キッチンタイマーに設定された時間の キャンセル

-  を押します。
「キッチンタイマー」と表示され、「変更」が強調表示されます。
- スクロールして「削除」を強調表示させます。
- OK センサーを押します。

キッチンタイマーの時間がキャンセルされました。

本製品では、さまざまな調理モードを選択できます。

選択した調理モードに応じて、さまざまなヒーターがオンになり、それにファンの動作が加わります。各（ ）内の説明を参照してください。


操作パネルから直接選択するプログラムもあります。
その他のプログラムは、 を選択すると表示されます。

以下のプログラムは操作パネルから直接選択します。

熱風加熱プラス

(リングヒーター+ファン)

複数の棚段でベーキングやローストを同時に行うために使用します。

ファンにより熱風がすぐに食材に行き渡るため、上下加熱  よりも低い温度を設定できます。

熱風ベーキング

(リングヒーター+ファン+下部ヒーター)

表面がしっとりとしたケーキのベーキングに適しています。熱風ベーキングは、薄いビスケットのベーキングには適していません。また、肉汁が煮詰まりすぎるのでローストにも適していません。

上下加熱

(上部ヒーター/グリルヒーター+下部ヒーター)

伝統的なベーキングやロースト、スフレの調理、低い温度での調理に適しています。

昔ながらのレシピや料理本を使用する場合は、調理温度をレシピに記載されているものより 10℃ 低く設定します。調理時間を変更する必要はありません。

グリル


(上部ヒーター/グリルヒーター)

ステーキなどの一枚肉を大量にグリルするのに適しています。また、焼き料理に軽く焦げ目をつけるのに適しています。

調理モード


モイスチャープラス

(リングヒーター*+ファン*+スチーム噴射システム)

* 熱風加熱プラスに相当します。
スチーム噴射システムは、その他のヒーターシステムと使用することもできます
[「モイスチャープラス 」を参照)。

熱風グリル


(上部ヒーター/グリルヒーター+ファン)

巻いた肉や鶏肉など、厚みのある肉のグリルに最適です。ファンにより熱風がすぐに食材に行き渡るため、グリル  よりも低い温度を設定できます。

自動プログラム

(プログラムによる)

このオプションを使用すると、本製品で使用可能なすべての自動プログラムの一覧が現れます。

以下のプログラムは、その他のプログラム  から選択します。

オートロースト

(リングヒーター+ファン)

ローストをするのに適しています。
最初に 230 °C の高温までオーブンが加熱されます。これにより肉の表面を焼き、内部をジューシーに保ちます。オーブンがこの温度に達するとすぐ、ローストを続けるために設定した調理温度まで自動的に下がります。

下部加熱

(下部ヒーター)

調理の最後にこの設定を使用し、ケーキ、キッシュ、ピザなどの底に軽く焼き目をつける場合に最適です。

解凍

(リングヒーター+ファン)




冷凍食材を徐々に解凍するのに適しています。

ジェントルベーキング

(リングヒーター+ファン)

肉の調理用

調理

- 調理に必要な付属品はオーブンから取り外します。
- レシピやクッキング早見表に指示がある場合にのみ、オーブンを予熱します。
- 調理中にドアを開けないようにします。
- 一般的に、温度が範囲で示されている場合は、記載されている最も低い温度を設定して、最も短い調理時間が経過した時点で食材が調理されたかどうかを確認します。
- 光沢のない材質（ほうろう加工されたステンレス、オーブン耐熱性ガラス製品、焦げ付き防止コーティングされたアルミキャスト）で作られた暗い色の型や容器を使用します。ステンレスやアルミニウム等の光沢のある材質は熱を反射するため、食材に熱が届きにくくなります。熱を反射するアルミホイールで、オーブンの床面やラックを覆わないでください。
- 食材を調理する際には、エネルギーを節約するために調理時間を守ってください。
調理時間を設定してください。
自動プログラムが使用可能であれば活用してください。
- 熱風加熱プラス  は、さまざまな種類の調理に使用できます。ファンにより熱風がすぐに食材に行き渡るため、上下加熱  よりも低い温度を使用できます。一度に2段以上の棚位置を同時に使うこともできます。
- 熱風グリル  は幅広い料理に使用できます。熱風グリルを使用すれば、最も高温の設定をする他のグリルプログラムより低い温度を利用できます。
- 複数の料理を同時に調理する場合は、隣同士に並べるか、別の棚位置に置きます。
- 同時に調理することができない料理の場合は、オーブン内の余熱を利用するために、できるだけ間をあけずに調理します。

調理モード

余熱の利用

- 140℃以上の温度を使用し30分以上かかる調理プログラムの場合、余熱を活用するために、最後の5分程度は最低温度まで下げることができます。プログラムによっては冷却ファンおよび、熱風ファンも運転を続けます。オーブンの電源をオフにしないでください（「安全上のご注意」を参照）。
- 調理プログラム用に調理時間を設定した場合、調理が終了する直前にオーブンのヒーターが自動的にオフになり、「省エネ運転」とディスプレイに表示されます。オーブン内には料理を完成させるのに十分な余熱があります。プログラムによっては冷却ファンおよび、熱風ファンも運転を続けます。
- 熱洗浄（パイロリティック）プログラムは、調理プログラムの直後に行います。オーブン内の余熱により、熱洗浄（パイロリティック）プログラムに必要なエネルギーを節約できます。

設定

- エネルギーの消費を抑えたい場合は、時計の表示をオフにします（「設定」を参照）。
- オープンの照明を、プログラムの 15 秒後に自動的にオフになるように設定します。☀ を押すことで、いつでも再びオンにすることができます。

省エネモード

- プログラムが作動しておらず、操作パネルが操作されなければ、省エネのためにオープンは自動的にオフになります。ディスプレイに時刻が表示される設定と、何も表示されない設定があります（「設定」を参照）。

操作

簡単な操作

- オープンをオンにします。
- 食材をオープンに入れます。

使用するプログラムを選択します。
プログラム、推奨温度、温度の範囲が表示されます。

ヒーター、照明、冷却ファンがオンになります。

- 必要な場合は、推奨温度を変更します。

変更がない場合、推奨温度は数秒で自動的に受け継がれます。

- OK センサーを押します。

必要な温度、および実際の温度が表示されます。

温度が上がっていく様子が表示されます。
設定した温度に最初に到達したときに、アラーム音が鳴ります。「設定」－「メロディー」を参照してください。

調理後：

- 食材をオープンから取り出します。
- オープンをオフにします。

冷却ファン

オープンの庫内や設置キャビネット内に蒸気が溜まったり、操作パネルが結露したりしないよう、調理プログラムの終了後も冷却ファンはしばらく運転を続けます。


庫内の温度が十分に下がると、冷却ファンはオフになります。

この初期設定は変更できます（「設定」－「冷却ファン作動」を参照）。

食材をオーブンに入れ、調理モードを選択し、温度を設定しました。

- 〽️を押します。

以下の項目がディスプレイに表示され、調理プログラム用に選択、変更できます。

- 温度
- 調理時間
- 終了（時間）
- 開始（時間）
（「調理時間」あるいは「終了（時間）」が設定されてから表示されます。）
- 加熱種類
（このオプションはモイスタチャープラス  にだけ表示されます。スチーム噴射をその他のプログラムと組み合わせることができます。）

調理モードの変更

作動中に調理モードを変更できます。

- 変更するプログラムを選択します。
- 「プログラムを変更？」と表示されたら、「はい」を選択します。
- OK センサーを押します。

変更したプログラムと推奨温度がディスプレイに表示されます。

- 必要な場合は、温度を変更します。
- OK センサーを押します。

オーブンの使用・その他の機能

温度の変更

調理プログラムを選択すると、推奨温度が、可能な範囲と一緒にディスプレイに表示されます。

以下の推奨温度が工場出荷時に設定されています。

熱風加熱プラス.....	160℃ (30～250℃)
上下加熱.....	180℃ (30～280℃)
モイスチャープラス.....	160℃ (130～250℃)
熱風ベーキング.....	170℃ (50～250℃)
オートロースト*.....	160℃ (100～230℃)
グリル.....	240℃ (200～300℃)
熱風グリル.....	200℃ (100～260℃)
ジェントルベーキング...	190℃ (100～250℃)
解凍.....	25℃ (25～50℃)
下部加熱.....	190℃ (100～250℃)

* 最初に表面を焼く段階の温度は約230℃、ローストを続ける温度は160℃です。

- 推奨温度がレシピに合っている場合は、OKセンサーを押します。
- 推奨温度がレシピに合っていない場合は、その調理プログラム用に温度を変更できます。
- 必要な温度を設定するには、Vまたは入を使用します。

温度は5°単位で変更できます。

- OKセンサーを押します。






必要な温度の変更が保存されました。


元の推奨温度そのものをお好みに合わせて変更することもできます。「設定」-「推奨温度」を参照してください。

オーブンの使用・その他の機能


急速加熱


急速加熱は、加熱を加速するために使用できます。

熱風加熱プラス 、オートロースト 、上下加熱 、モイスタチャープラス  のいずれかに 100℃ 以上の温度を設定した場合に、急速加熱  が自動的にオンになります。


 センサーが点灯します。

ピザ、あるいはスポンジやビスケットなどの柔らかくて崩れやすいものを調理する場合は、急速加熱をオフにしてください。上面がすぐに焦げてしまいます。

加熱段階中に  センサーを押して、急速加熱のオン/オフを切り替えます。

■ 点灯している  センサーを押します。

「急速加熱」の代わりに「予熱」とディスプレイに表示され、キーパッドの明かりが消えます。

「予熱」とディスプレイに表示されている間に、明かりの消えた  センサーを押すと、「急速加熱」が再びオンになります。

オーブンの予熱

オーブンの予熱が必要なのはいくつかの場合のみです。

食材の多くは、オーブンを予熱しない状態で入れることができます。加熱段階で発生する熱を利用します。

オーブンの予熱が必要なのは以下の場合です。

熱風加熱プラス

- ー 全粒粉のパン生地
- ー 牛サーロインおよびヒレ

上下加熱

- ー 調理時間の短いケーキおよびビスケット (30 分以内)
- ー スポンジなどの柔らかくて崩れやすい生地
- ー 全粒粉のパン生地
- ー 牛サーロインおよびヒレ

■ 必要な調理モードと温度を選択します。

■ ピザ、ビスケット、ミニケーキをベーキングする場合は、急速加熱をオフにします。

■ 加熱が終了するのを待ちます。

アラーム音が鳴るように設定されている場合は、設定した温度に到達するとアラーム音が鳴ります（「設定」ー「メロディー」を参照）。

■ 食材をオーブンに入れます。

オーブンの使用・その他の機能

調理時間の設定

食材をオーブンに入れ、調理モードを選択し、温度を設定しました。

希望の時間に調理を自動終了させる、または自動開始および自動終了させるには、「調理時間」、「終了（時間）」、「開始（時間）」を設定します。

— 調理時間

必要な調理時間を入力します。

設定した調理時間が経過すると、自動的にヒーターがオフになります。

調理時間は、最大 12 時間まで設定できます。

— 終了（時間）

調理を終える時刻を設定します。設定した時刻になると、オーブンが自動的にオフになります。

— 開始（時間）

このオプションは、「調理時間」あるいは「終了（時間）」が設定されてはじめて表示されます。

「開始（時間）」にはプログラムを開始したい時刻を指定します。

開始時刻になると、オーブンが加熱を開始します。

プログラムの自動終了

使用例：

現在 11:45 です。調理には 30 分かかり、12:15 までに完成する必要があります。

「調理時間」を選択し、時間を 0:30h に設定します。あるいは、「終了（時間）」を選択し、時刻を 12:15 に設定します。

設定した時間になると、オーブンが自動的にオフになります。

「調理時間」の設定

- '≡ を押します。
- 「調理時間」が強調表示されるまで、一覧をスクロールします。
- OK センサーを押します。
- 必要な調理時間を入力します。
- OK センサーを押します。

「終了（時間）」の設定

- '≡ を押します。
- 「終了（時間）」が強調表示されるまで、一覧をスクロールします。
- OK センサーを押します。
- 調理を終える時刻を入力します。
- OK センサーを押します。

オーブンの使用・その他の機能

プログラムの自動開始および自動終了

ロースト調理の場合は、自動開始および自動終了を設定することをお勧めします。ケーキやパンの生地を焼くときは、自動開始までの時間をできるだけ短く設定してください。時間をおくと生地が乾燥してしまいます。また、イースト菌の働きが弱まってしまいます。

プログラムを自動開始および自動終了させるには、以下の組み合わせから選択して入力します。

- － 「調理時間」と「終了（時間）」
- － 「調理時間」と「開始（時間）」
- － 「終了（時間）」と「開始（時間）」

使用例：

現在 11:30 です。調理には 30 分かかり、12:30 までに完成する必要があります。

- 「調理時間」を選択し、時間を 00:30 h に設定します。
- 「終了（時間）」を選択し、時刻を 12:30 h に設定します。

「開始（時間）」は自動的に計算されます。「開始：12:00」とディスプレイに表示されます。

開始時刻になると、オーブンが自動的にオンになります。

自動開始・自動終了使用時の調理プログラムの進行

開始時刻の前は、調理モードと選択した温度、開始時刻がディスプレイに表示されます。

プログラムの開始後は、必要な温度に到達するまでの加熱段階がディスプレイに表示されます。

アラーム音が鳴るように設定されている場合は、必要な温度に達するとアラーム音が鳴ります（「設定」－「アラーム音」を参照）。

加熱段階の後、残り時間がディスプレイに表示されます。

残り時間はディスプレイにカウントダウン表示されます。最後の1分間は秒単位でカウントダウンされます。

アラーム音が鳴るように設定されている場合は、調理**プログラムの終了時**にアラーム音が鳴ります（「設定」－「アラーム音」を参照）。

ヒーターと照明がオフになります。「プログラム終了」とディスプレイに表示され、「保存」が強調表示されます。

「保存」には、プログラムをユーザープログラムとして保存するオプションがあります。（「ユーザープログラム」を参照）

冷却段階の間、冷却ファンはしばらく運転を続けます。

オーブンの使用・その他の機能

入力した調理時間の変更

- 〽️を押します。

変更可能なすべてのオプションが表示されます。

- 使用する設定が強調表示されるまで、一覧をスクロールします。

- OK センサーを押します。

「変更」が強調表示されます。

- OK センサーを押します。

- 設定した時間を変更します。

- OK センサーを押します。


停電の場合、これらの設定はすべて削除されます。

調理の中止

- ⏪を押します。

- 「調理中断？」と表示されたら、「はい」を選択します。

オーブンのヒーターおよび照明はオフになります。設定された調理時間は削除されます。

本製品には、蒸気を使用して調理を行うスチーム噴射システムがあります。モイスタープラス  を使ったベーキング、ロースト、または調理では、スチームと空気が最適に入り、すばらしい料理に仕上げたり、きれいな焼き目をつけることができます。

モイスタープラス  を選択後、温度とスチームの噴射回数を設定します。

以下の項目を選択できます。

－ 自動蒸気注入

1回のスチーム噴射に十分な水を必要とします。加熱段階が完了すると、スチームがオープン庫内に自動的に噴射されます。

－ 蒸気注入 (1回)

蒸気注入 (2回)

蒸気注入 (3回)

蒸気注入の回数に応じて、適切な量の水を準備する必要があります。

スチームを手動で噴射する必要があります。

新しい水道水を、操作パネルの左下にあるチューブでスチーム噴射システムに取り込みます。



モイスタープラスを使用した調理では、新しい水道水のみを使用してください。他の液体はオープンの損傷の原因となります。

取り込まれた水が、調理プログラム中にオープン庫内に向けてスチーム噴射されます。スチーム噴射口は、オープン天井の後方左角にあります。

1回のスチーム噴射に約5分から8分必要です。

スチーム噴射回数と噴射のタイミングは、調理する食材に応じて異なります。

－ **イースト生地**は、プログラム開始時にスチームを噴射することでよく膨らむようになります。

－ **パンやロールパン**も、開始時にスチームを噴射することでよく膨らむようになります。

プログラムの終了時にスチームを噴射すると、パンやロールパンの外側やみみのツヤが増します。


－ **脂肪分の多い肉のロースト**では、ロースト開始時にスチームを噴射することで余分な脂肪分を落とせます。


モイスタープラスは、シュー生地やペストリー、およびメレンゲのようなすでに多くの水分を含んでいる生地には適していません。これらはスチームを加えると、表面がパリッと焼きあがりません。

ヒント： サンプルのレシピを参照してください。

モイスタープラス

ヒーターの種類


モイスタープラス  は、スチーム噴射と一緒に、通常「熱風加熱プラス」が使用されます。

 を押して、「加熱種類」を選択し、以下のプログラムとスチーム噴射を一緒に使用することもできます。

- 上下加熱
- 熱風ベーキング
- オートロースト

モイスタープラス

スチーム噴射中、通常はドアの内側に結露が発生します。これは、調理プログラムが進行するにつれて蒸発します。

- 食材を用意してオーブンに入れます。
- 「モイスタープラス 」を選択します。

推奨温度の 160 °C が表示されます。

ヒーター、照明、冷却ファンがオンになります。

温度の設定

- 必要な温度を設定します。
- OK センサーを押します。

スチーム噴射回数の設定

ヒント： サンプルのレシピを参照してください。

以下の手順で、加熱段階が完了後に、自動的にオープン庫内にスチームが噴射されるようになります。

- 「自動蒸気注入」を選択します。

以下の手順で、特定のタイミングに手動でスチーム噴射できます。

- 「蒸気注入（1回）」、「蒸気注入（2回）」、「蒸気注入（3回）」のいずれかを選択します。
- OK センサーを押します。


スチーム噴射のタイミング

このオプションは、「蒸気注入（1回）」、「蒸気注入（2回）」、「蒸気注入（3回）」のいずれかを選択した場合にのみ、ディスプレイに表示されます。

ヒント: スチームを1回以上噴射する選択をした場合、2回目のスチーム噴射は調理プログラムの開始から10分以上経過した後に行います。

— 手動によるスチーム噴射

手動によるスチーム噴射は、以下の手順で行います。

- 「蒸気注入 手動」を選択します。
噴射のタイミングを逃さないように、キッチンタイマー  を設定します。

— 時間制御によるスチーム噴射

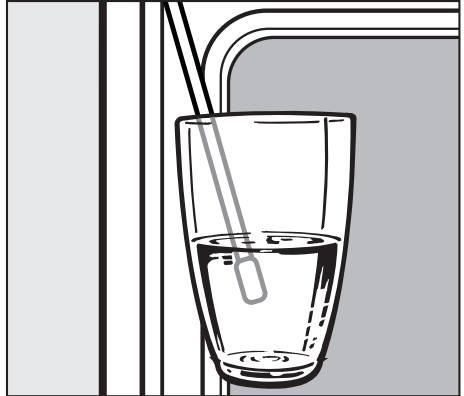
スチーム噴射のタイミングを計るには、以下の手順で行います。

- 「蒸気注入 時間設定」を選択します。
- スチームを噴射するそれぞれの時間を設定します。
設定した時間になると、オープンがスチームを噴射します。プログラムが開始すると、カウントダウン表示されます。
- OK センサーを押します。

水の取り込みを促すメッセージが表示されます。

水の取り込みの準備・開始

- 必要な量の新しい水道水を、適切な容器に注ぎます。
- ドアを開けます。
- 給水パイプを引き出します（操作パネルの左下にあります）。



- 給水パイプの口を容器の水道水につけます。
- OK センサーを押します。

水の取り込みが始まります。

実際にオープン内に取り込まれる水量は、指定される必要水量より少ないため、容器に少量の水が残ります。

水の取り込みは OK センサーを押すことで、いつでも中断や再開ができます。

モイスチャープラス

- 水の取り込みが終了したら、容器を取り出します。
- 水の取り込みが完了したことを示すメッセージが現れます。確認してOKセンサーを押します。
- ドアを開めます。

給水チューブに残った水がオープン内へ取り込まれているため、しばらくポンプ音が聞こえます。

ヒーター、冷却ファンがオンに切り替わります。必要な温度、および実際の温度がディスプレイに表示されます。

温度が上がっていく様子が表示されます。設定した温度に最初に到達した時に、アラーム音が鳴ります。「設定」－「アラーム音」を参照してください。

「蒸気注入 時間設定」を選択した場合、次にスチームが噴射される時間が表示されます。必要な場合には、'≡ センサーを使用してこの時間を変更できます。

加熱方法の変更

レシピにより、プログラムを変更します。


- '≡ を押します。
- 「加熱種類」が強調表示されるまで、一覧をスクロールします。
- OK センサーを押します。
- 変更するプログラムを選択します。
- OK センサーを押します。

蒸気でやけどを負う恐れがあります。
スチーム噴射中はオーブンのドアを開けないでください。
センサーに結露が発生すると、センサーの反応が遅くなります。

自動蒸気注入

加熱段階が完了すると、スチームが自動的に噴射します。


スチームの噴射中にはオープン庫内に水蒸気が発生します。

スチーム噴射が終了すると、は消えます。

- 調理時間の終了まで調理を続けます。

蒸気注入（1回から3回まで）


－ 手動によるスチーム噴射


「蒸気注入 手動」を選択した場合、センサーが点灯するとスチームを噴射できるようになります。

オープン庫内の熱い空気によりスチームが均等に行き渡るようにするため、加熱段階が完了してからスチームを噴射してください。


スチーム噴射のタイミングに関しては、レシピを参照してください。

ヒント：噴射のタイミングを逃さないように、キッチンタイマー を設定します。

- を押します。

スチームが噴射され、センサーが消灯し、とディスプレイに表示されます。

- さらにスチームを噴射する必要がある場合は、上記の手順を繰り返します。

各スチーム噴射が終了するごとに、がディスプレイから消えます。

- 調理時間の終了まで調理を続けます。

－ 時間制御によるスチーム噴射


指定した時間が経過すると、オープンがスチームを噴射します。

モイスチャープラス

残った水の蒸発処理

スチームを噴射して調理する場合、調理プログラムが中断されない限りは、各スチーム噴射で同じ量の水を使用し、水は使い切ります。


しかし、すべてのスチームが噴射される前に調理プログラムが中断された場合には、使用されなかった水がスチーム噴射システム内に残ります。

この次にモイスチャープラス  や、蒸気を使う自動プログラムを使用する場合は、「残留水を蒸発させますか？」とディスプレイに表示されます。「スキップ」と「はい」から選択します。

次回の調理プログラムで新鮮な水が使えるようにするためにも、蒸発処理をすぐに開始することをお勧めします。

残った水の蒸発処理をすぐに開始する

蒸気でやけどを負う恐れがあります。残った水の蒸発処理中にオーブンのドアを開けないでください。

- モイスチャープラス 、あるいは蒸気を使う自動プログラムを選択します。

「残留水を蒸発させますか？」とディスプレイに表示され、「はい」が強調表示されます。


- OK センサーを押します。

「残留水を蒸発」および時間がディスプレイに表示されます。

蒸発処理が始まります。処理時間がディスプレイにカウントダウン表示されます。

表示される処理時間は、スチーム噴射システム内に残った水の量によって決まります。水の量によっては、蒸発処理中に処理時間が変わることがあります。


残った水の蒸発処理の終了時に、「プロセス完了」とディスプレイに表示されます。


モイスチャープラス  を使用する調理、あるいは蒸気を使う自動プログラムが実行できるようになります。

蒸発プロセス中は、蒸気がドアやオープン庫内に結露します。

この結露は、オープンが冷えた後に拭き取ってください。


残った水の蒸発処理のスキップ

 必要な場合以外、残った水の蒸発処理をキャンセルしないでください。条件が重なると、水の取り込みを繰り返すことでスチームユニットから水が溢れ出すことがあります。

- モイスチャープラス  、あるいは蒸気を使う自動プログラムを選択します。

「残留水を蒸発させますか？」と表示されます。

- 「スキップ」が強調表示されるまで、一覧をスクロールします。
- OK センサーを押します。

モイスチャープラス  を使用する調理、あるいは蒸気を使う自動プログラムが実行できるようになります。

自動プログラム

本製品は、簡単に正しく調理できるようにする、さまざまな自動プログラムを備えています。食材や料理に適したプログラムを選択して、ディスプレイに表示される指示に従ってください。

自動プログラムは、**Auto** から一覧表示されます。

食材や料理の一覧

- ケーキ
- 焼き菓子（小）
- パン
- パンミックス
- 丸パン
- 肉
- ジビエ
- 鶏肉
- 魚
- デザート

自動プログラムの使用

- **Auto** を選択します。

食材や料理の一覧がディスプレイに表示されます。

- 使用する食材の種類が強調表示されるまで、一覧をスクロールします。
- OK センサーを押します。

利用可能な自動プログラムが表示されます。

- 使用する自動プログラムが強調表示されるまで、一覧をスクロールします。
- OK センサーを押します。

自動プログラムを開始する前に行う必要がある手順がディスプレイに表示されます。

選択したプログラムに応じて、以下の項目に関する詳細情報や指示が表示されます。

- ローストまたはベーキングする料理
- 棚位置
- モイスチャープラスを使用するプログラムに必要な水の量
- 調理時間
- ディスプレイの指示に従います。

自動プログラムの選択に関しては、レシピブックを参照してください。

自動プログラムの使用に関する注意

- 自動プログラムのレシピは、目安として
のせています。
量を変えるなどして、似たレシピとして
活用することができます。
- 自動プログラムの開始前は、オープン庫
内が室温である必要があります。
- 自動プログラムの調理時間は推定値であ
り、プログラムによって変化することが
あります。特に肉などの調理時間は、そ
の食材の最初の温度により変化します。
- 調理中に追加で液体や野菜を加えるこ
とが必要なプログラムがあります。必要
な時にメッセージがディスプレイに表
示されます（例：「液体を加える時間」）。
- オープンに食材を入れる前に予熱段階
が必要なプログラムがあります。オーブ
ンに食材を入れる時間を伝えるメッ
セージが表示されます。

ユーザープログラム

好みのプログラムを作成して、20 個まで保存できます。

— 1 個のプログラムに 10 までの調理プロセスを含めることができます。そのため、頻繁に使用するレシピを正確に保存できます。それぞれの調理プロセスには、調理モード、温度、調理時間を設定できます。

— 食材を置く棚位置を指定できます。

— プログラムにレシピの名前を付けることができます。

次にプログラムを選択したときには、自動的に開始します。


ユーザープログラムの作成にはいくつかの方法があります。

— 自動プログラムの終了時に「保存」を選択します。

— 調理時間を設定したプログラムの終了後に「保存」を押します。

その後、プログラムに名前を付けます。

ユーザープログラムの作成

■  を選択します。

最初のユーザープログラムの作成

初めてユーザープログラムを作成する場合には、「プログラム設定」とディスプレイに表示されます。

■ OK センサーを押します。

2 つめ以降のユーザープログラムの作成

すでにユーザープログラムが存在する場合には、そのプログラム名が表示され、その下に「プログラム編集」と表示されます。

■ 「プログラム編集」が強調表示されるまで、一覧をスクロールします。

■ OK センサーを押します。

「プログラム設定」が強調表示されます。

■ OK センサーを押します。

プログラム選択 1 の設定を確定できます。ディスプレイの指示に従います。

■ 調理モード、温度、調理時間を選択し確認します。

選択したプログラムによっては、「急速加熱」も選択できます。「オーブンの使用・その他の機能」—「急速加熱」を参照してください。

プログラム選択 1 の設定が完了しました。

ユーザープログラム

プログラム設定をさらに追加できます。例えば、プログラム選択 1 に続けて、もう 1 つ調理モードを追加できます。

プログラム設定を追加するには：

- 「調理プロセス追加」を選択して、プログラム選択 1 のときと同じ手順を行います。

プログラムの設定を終了するには：

- 「プログラム完了」を選択します。

最後に、食材をのせる棚位置を設定します。

- 必要な棚位置を選択し、確認します。

設定内容の説明がディスプレイに表示されます。

- 設定を確認し、OK を押します。
- 「保存」が強調表示されるまで、一覧をスクロールします。
- OK センサーを押します。

最後にプログラムに名前を付けます。以下の記号がアルファベットの隣に表示されます。

記号	説明
□	スペース
ABC	アルファベット（大文字）
abc	アルファベット（小文字）
123	0 から 9 までの数字、 およびハイフン
✓	プログラム名の確認

- 使用する文字が強調表示されるまで、一覧をスクロールします。

- OK センサーを押します。

選択した文字または数字がディスプレイの 1 番上の行に表示されます。

←センサーを使用して、文字を次々に消去できます。

名前は最大で 10 文字まで使用できます。


- プログラム名に使用する残りの文字または数字を選択します。
- プログラム名を入力したら、✓ が強調表示されるまで、一覧をスクロールします。
- OK センサーを押します。

名前が保存されたことを確認するメッセージがディスプレイに表示されます。

- OK センサーを押します。

ユーザープログラム

ユーザープログラムの開始

-  を選択します。

プログラム名がディスプレイに表示され、その下に「プログラム編集」と表示されます。

- 使用するプログラムが強調表示されるまで、一覧をスクロールします。

- OK センサーを押します。

一覧がディスプレイに表示されます。

— すぐに開始

プログラムが直ちに開始し、オープンのヒーターがオンになります。

— 開始

プログラムを開始したい時刻を指定できます。設定した時刻になると、オープンのヒーターが自動的にオンになります。

— 終了（時間）

調理を終了したい時刻を指定できます。設定した時刻になると、オープンが自動的にオフになります。

「調理プロセス変更」のオプションは、「ユーザープログラムの変更」を参照してください。

- 使用するオプションが強調表示されるまで、一覧をスクロールします。

- OK センサーを押します。


- 使用する棚位置に関する表示が現れません。確認して OK センサーを押します。

選択したプログラムが自動的に、ただちに、または設定された時間に開始します。

ユーザープログラムの変更

調理プロセスの変更

自動プログラムの名前を変えて作ったユーザープログラムの調理プロセスは変更できません。

-  を選択します。

プログラム名がディスプレイに表示され、その下に「プログラム編集」と表示されます。

- 使用するプログラムが強調表示されるまで、一覧をスクロールします。
- OK センサーを押します。
- 「調理プロセス変更」が強調表示されるまで、一覧をスクロールします。
- OK センサーを押します。

プログラム選択 1 が強調表示されます。プログラム選択の設定を変更したり、プログラムに新たなプログラム選択を追加したりできます。


- 使用するプログラム選択、または「調理プロセス追加」が強調表示されるまで、一覧をスクロールします。
- OK センサーを押します。

- プログラムをお好みに合わせて変更します（「ユーザープログラムの作成」を参照）。
- OK センサーを押します。
- 設定を確認し、OK を押します。
- 「保存」が強調表示されるまで、一覧をスクロールします。
- OK センサーを押します。
- 必要に応じて名前を変更します（「ユーザープログラムの作成」を参照）。

プログラムの変更が保存されます。

ユーザープログラム

名前の変更

-  を選択します。

プログラム名がディスプレイに表示され、その下に「プログラム編集」と表示されます。

- OK センサーを押します。
- 「プログラム変更」が強調表示されるまで、一覧をスクロールします。
- OK センサーを押します。
- 名前を変更するプログラムが強調表示されるまで、一覧をスクロールします。
- OK センサーを押します。
- 「名前変更」が強調表示されるまで、一覧をスクロールします。
- OK センサーを押します。

- 新しい名前を入力します（「ユーザープログラムの作成」を参照）。

- 新しい名前を入力したら、✓が強調表示されるまで、一覧をスクロールします。


- OK センサーを押します。

名前が保存されたことを確認するメッセージがディスプレイに表示されます。

- OK センサーを押します。

プログラムの新しい名前が保存されます。

ユーザープログラムの削除

-  を選択します。

プログラム名がディスプレイに表示され、その下に「プログラム編集」と表示されます。

- OK センサーを押します。
- 「プログラム削除」が強調表示されるまで、一覧をスクロールします。
- OK センサーを押します。
- 削除するプログラムが強調表示されるまで、一覧をスクロールします。
- OK センサーを押します。

「XYZ削除?」とディスプレイに表示されます。

- 「はい」が強調表示されるまで、一覧をスクロールします。
- OK センサーを押します。

プログラムが削除されます。





すべてのユーザープログラムを同時に削除できます（「設定」－「工場出荷時の設定」－「ユーザープログラム」を参照）。

ベーキング

健康のため、食材を適切な状態に調理することが大切です。




ケーキ、ピザ、フライドポテトなどは、ほどよいきつね色に焼き、焦がさないように注意してください。

調理モード


食材の状態に応じて、熱風加熱プラス 、熱風ベーキング 、モイスチャープラス 、上下加熱  を使用できます。

焼き型

焼き型はプログラムに応じて選択します。

ー 熱風加熱プラス 、熱風ベーキング 、モイスチャープラス ：

ベーキングトレイ、ユニバーサルトレイ、オーブン用素材でできたあらゆる焼き型

ー 上下加熱 ：

光沢のない暗い色の型や、耐熱ガラス、セラミック製の皿なども利用できます。明るい色や光沢のある金属製の容器は避けてください。むらができたり、焼き色が付かないことがあります。またケーキがうまく焼けないことがあります。

ー ベーキング容器は常にラックの上に置いてください。長方形の型は、ラックの横幅と直角に入れると最もよく熱が行き渡り、均一にむらなく焼くことができます。

ー 生の果物を飾ったケーキや背の高いスポンジケーキを焼くときは、汁がこぼれてオーブンが汚れないように型をユニバーサルトレイに置いてください。

クッキングシート／容器に油を引く

ユニバーサルトレイ等のミーレの付属品には、パーフェクトクリーン加工が施されています（「機能の説明」を参照）。

パーフェクトクリーン加工が施されている表面は通常、油を引いたりクッキングシートを敷いたりする必要はありません。

クッキングシートは、以下のベーキングで必要です。

ー プレッツェル、ブレッドスティックのような塩分を多く含むもの。生地に含まれる塩分でパーフェクトクリーン加工面を損傷させる恐れがあります。

ー メレンゲやスポンジのような卵白を多く含むもの。はがれにくくなります。

ー 冷凍食材をラック上で調理する場合。

ベーキング早見表に関する注意

温度

原則として、早見表に記載されている一番低い温度に設定してください。

温度を推奨より高めに設定すると、調理時間が短くなる場合もありますが、焼き色がむらになったり、満足するように調理できなかつたりします。

ベーキングの調理時間

記載されている最も短い調理時間が経過した時点で、食材が調理されたかどうかを確認してください。

ケーキが焼けたかどうかを確認するには、竹串を中央に刺します。串に生地が付いてこなければ焼き上がりです。

棚位置

ベーキングで食材を置く棚位置は、調理モード、および使用するトレイの数で決まります。

— 熱風加熱プラス

トレイが1枚：棚位置2

トレイが2枚：棚位置1+3 / 棚位置2+4

トレイが3枚：棚位置1+3+5

ユニバーサルトレイとベーキングトレイを使用して2段や3段で同時にベーキングする場合、ユニバーサルトレイはベーキングトレイの下で使用します。

水分があるビスケットやケーキを同時にベーキングするのは最大で2段までにしてください。

— モイスチャープラス

トレイが1枚：棚位置2

— 熱風ベーキング

トレイが1枚：棚位置1あるいは棚位置2

— 上下加熱

トレイが1枚：棚位置1あるいは棚位置2

ベーキング









ベーキング早見表




ケーキ/ビスケット			
	 [°C]	 [分]	 [分]
スポンジ生地			
パウンドケーキ	150 ~ 170	2	60 ~ 70
リングケーキ	150 ~ 170	2	65 ~ 80
マフィン (トレイ 1 枚または 2 枚)	150 ~ 170	2 [1+3 ⁴]	30 ~ 50
ミニケーキ (トレイ 1 枚) ¹⁾²⁾	150	2	25 ~ 40
ミニケーキ (トレイ 2 枚) ¹⁾²⁾	150 ³⁾	2+4	25 ~ 40
スポンジケーキ (トレイを使用)	150 ~ 170	2	25 ~ 40
マーブルケーキ、ナッツケーキ (型を使用)	150 ~ 170	2	60 ~ 80
メレンゲ入りフレッシュフルーツケーキ (トレイを使用)	150 ~ 170	2	45 ~ 50
フレッシュフルーツケーキ (トレイを使用)	150 ~ 170	2	35 ~ 55
フレッシュフルーツケーキ (型を使用)	150 ~ 170	2	55 ~ 65
ケーキの土台 ¹⁾	150 ~ 170	2	23 ~ 35
ビスケット/クッキー ¹⁾ (トレイ 1 枚または 2 枚)	150 ~ 170	2 [1+3 ⁴]	20 ~ 25
練り込み生地			
パイ生地	150 ~ 170	2	20 ~ 25
シュトロイゼルケーキ	150 ~ 170	2	45 ~ 55
ビスケット/クッキー ¹⁾ (トレイ 1 枚または 2 枚)	150 ~ 170	2 [1+3 ⁴]	15 ~ 25
ドロップクッキー ¹⁾²⁾ (トレイ 1 枚または 2 枚)	140	2 [1+3 ⁴]	30 ~ 45
チーズケーキ	150 ~ 170	2	70 ~ 95
アップルパイ (型の直径 20 cm) ¹⁾²⁾	160	2	85 ~ 105
アップルパイ ¹⁾	160 ~ 180	2	50 ~ 70
トッピング付き (フィリング入り) アプリコットタルト (型を使用)	150 ~ 170	2	55 ~ 75
スイス風キッシュ	—	—	—




推奨調理モードは数字が太字で表示されています。


特に明記していない限り、記載されている時間はオーブンを予熱していない場合のもので、予熱する場合は、時間を最大 10 分短縮してください。

一般的に、温度が範囲で示されている場合は、記載されている最も低い温度を設定して、最も短い調理時間が経過した時点で食材が調理されたかどうかを確認します。

					
 [°C]	 ⁵ ₁	 [分]	 [°C]	 ⁵ ₁	 [分]
150 ~ 170	2	60 ~ 70	—	—	—
150 ~ 170	2	65 ~ 80	—	—	—
160 ~ 180	2	25 ~ 45	—	—	—
160³⁾	3	25 ~ 35	—	—	—
—	—	—	—	—	—
170 ~ 190	2	25 ~ 40	—	—	—
150 ~ 170	2	60 ~ 80	—	—	—
170 ~ 190	2	45 ~ 50	—	—	—
170 ~ 190	1	35 ~ 55	—	—	—
160 ~ 180	2	55 ~ 65	—	—	—
170 ~ 190	2	20 ~ 25	—	—	—
160 ~ 180 ³⁾	3	15 ~ 25	—	—	—
—	—	—	—	—	—
170 ~ 190 ³⁾	2	15 ~ 20	—	—	—
170 ~ 190	2	45 ~ 55	—	—	—
160 ~ 180 ³⁾	3	15 ~ 25	—	—	—
160³⁾	2	15 ~ 33	—	—	—
170 ~ 190	2	85 ~ 95	150 ~ 170	2	75 ~ 90
180	1	80 ~ 95	—	—	—
170 ~ 190	1	45 ~ 65	160 ~ 180	1	50 ~ 70
170 ~ 190	2	55 ~ 75	150 ~ 170	2	50 ~ 60
220 ~ 240³⁾	1	35 ~ 50	190 ~ 210³⁾	1	25 ~ 40





 熱風加熱プラス /  上下加熱 /  熱風ベーキング

 温度 / ⁵₁ 棚位置 /  調理時間

- 1) 加熱中は、急速加熱モードをオフにしてください。点灯している  センサーを押してオフにします。
- 2) この設定は、EN 60350 に従った試験にも適合しています。
- 3) オープンを予熱してください。
- 4) 記載されている調理時間が経過する前に食材に十分焼き色がついている場合は、早めに取り出してください。

ベーキング









ベーキング早見表



ケーキ／ビスケット			
	 [°C]	 [分]	 [分]
ビスキュイ生地 ¹⁾			
タルト／フラン生地（卵2個） ¹⁾	170 ~ 190	2	15 ~ 20
スポンジケーキ（卵4個から6個） ¹⁾	175 ~ 195	2	22 ~ 30
メレンゲスポンジケーキ ¹⁾²⁾	180	2	25 ~ 35
ロールケーキ ¹⁾	160 ~ 180	2	15 ~ 25
イースト生地およびクワルク生地			
生地の発酵	50	5)	15 ~ 30
クグロフ	150 ~ 170	2	50 ~ 60
シュトーレン	150 ~ 170	2	55 ~ 65
シュトロイゼルケーキ	150 ~ 170	2	35 ~ 45
フレッシュフルーツケーキ（トレイを使用）	160 ~ 180	2	40 ~ 60
白パン	160 ~ 180	2	50 ~ 60
全粒粉パン	170 ~ 190³⁾	2	50 ~ 60
ピザ（トレイを使用） ¹⁾	170 ~ 190	2	35 ~ 45
オニオンタルト	170 ~ 190	2	35 ~ 45
アップルパイ（トレイ 1枚または2枚）	150 ~ 170	2 [1+3⁴⁾	25 ~ 30
シュー生地 ¹⁾ 、エクレア（トレイ 1枚または2枚）	160 ~ 180	2 [1+3⁴⁾	30 ~ 45
パフペーストリー（トレイ 1枚または2枚）	170 ~ 190	2 [1+3⁴⁾	20 ~ 25
メレンゲ、マカロン（トレイ 1枚または2枚）	120 ~ 140	2 [1+3⁴⁾	25 ~ 50

推奨調理モードは数字が太字で表示されています。


特に明記していない限り、記載されている時間はオーブンを予熱していない場合のもので、予熱する場合は、時間を最大 10 分短縮してください。

一般的に、温度が範囲で示されている場合は、記載されている最も低い温度を設定して、最も短い調理時間が経過した時点で食材が調理されたかどうかを確認します。

					
 [°C]	 ⁵ ₁	 [分]	 [°C]	 ⁵ ₁	 [分]
170 ~ 190 ³⁾	2	10 ~ 20	—	—	—
170 ~ 190 ³⁾	2	20 ~ 40	—	—	—
150 ~ 180 ³⁾	2	20 ~ 45	—	—	—
170 ~ 190 ³⁾	2	15 ~ 20	—	—	—
35	5)	15 ~ 30	—	—	—
160 ~ 180	1	50 ~ 60	—	—	—
150 ~ 170	2	55 ~ 65	—	—	—
170 ~ 190	2	35 ~ 45	—	—	—
170 ~ 190 ¹⁾	3	40 ~ 55	170 ~ 190	2	40 ~ 55
160 ~ 180	2	50 ~ 60	—	—	—
190 ~ 210 ³⁾	2	50 ~ 60	—	—	—
190 ~ 210	2	30 ~ 45	170 ~ 190	2	40 ~ 50
180 ~ 200	2	25 ~ 35	170 ~ 190	2	25 ~ 35
160 ~ 180	2	25 ~ 30	—	—	—
180 ~ 200 ³⁾	3	30 ~ 40	—	—	—
190 ~ 210 ³⁾	2	20 ~ 25	—	—	—
120 ~ 140 ³⁾	2	25 ~ 50	—	—	—





 熱風加熱プラス /  上下加熱 /  熱風ベーキング

 温度 / ⁵₁ 棚位置 /  調理時間

- 1) 加熱中は、急速加熱モードをオフにしてください。点灯している  センサーを押してオフにします。
- 2) この設定は、EN 60350 に従った試験にも適合しています。
- 3) オープンを予熱してください。
- 4) 記載されている調理時間が経過する前に食材に十分焼き色がついている場合は、早めに取り出してください。
- 5) オープンの床面にラックを置き、生地を入れた容器をラックに置きます。

ロースト

調理モード

調理方法により、熱風加熱プラス 、モイ
スチャープラス 、オートロースト 、
上下加熱 、あるいは自動プログラムを
使用できます。

ローストに使用する食器類

あらゆる耐熱食器を使用できます。





ミーレベーキングディッシュ、ロースト鍋、
オープン用耐熱ガラス製容器、ロースト用
バッグ、磁器製容器または鋳鉄製容器、ユ
ニバーサルトレイ、ユニバーサルトレイに
のせたラックや（別売りの）飛散防止天板。

ベーキングディッシュでのローストが便利
です。グレービーソースを作るための肉汁
を十分残すことができます。また、ラックを
使用するよりも、オープン庫内をきれいな
状態に保つことができます。

ロースト早見表に関する注意

温度

原則として、早見表に記載されている一番
低い温度に設定してください。高い方の温
度を使用すると、肉に焼き目はついて、中
まで火が通りません。

熱風加熱プラス 、モイ
スチャープラス 、オートロースト  で調理する場
合は、上下加熱  よりも約 20℃ 低い温度に
設定してください。

3 kg 以上のカット肉の場合は、ロースト早
見表よりも約 10℃ 温度を低く設定してくだ
さい。温度を低くすると調理時間は長くな
りますが、均一に仕上がります。

ラックで直接ローストする場合は、ベー
キングディッシュでローストする場合より約
10℃ 温度を低く設定してください。

予熱

牛サーロインおよびヒレのローストには予
熱が必要です。

ロースト時間 ⊕

英国の伝統的なロースト時間の求め方：

肉の種類に応じて、450 g あたり 15 ～ 20 分、さらに約 20 分を加えた時間が目安となります。ただし、ローストの状態を確認しながら調理時間を調整してください。ロースト時間は、肉の厚み (cm) × 肉の種類別ロースト時間 (分 / cm) で求めることもできます。

牛肉 / 鹿肉 15 ～ 18 分 / cm

豚肉 / 子牛肉 / ラム肉 12 ～ 15 分 / cm

サーロイン / ヒレ 8 ～ 10 分 / cm

最も短い調理時間が経過した時点で、肉が調理されたかどうかを確認してください。

棚位置

原則として、棚位置 2 を使用します。

ヒント

焼き目を付ける

焼き目は、ロースト時間が終わる頃に付き始めます。そのため、焼き目をしっかりつけたい場合は、調理時間の半分が過ぎた頃にフタを外します。

肉をねかせる





ローストが終わったら、オープンから取り出し、アルミホイルで包んで、約 10 分間ねかせておきます。肉を切り分けるときに肉汁が出にくくなります。

鶏肉をローストする

パリッと焼き上げるには、ロースト時間が終わる 10 分前に薄い塩水を塗ります。

ロースト

ロースト早見表

肉／魚	 / 	
	 [°C]	 [分]
牛モモかたまり肉、約 1kg	170 ~ 190	100 ~ 130 ²⁾
牛ヒレまたはサーロインかたまり肉、約 1 kg	200 ~ 220	45 ~ 55³⁾
鹿肉、約 1 kg	140 ~ 160	100 ~ 120⁴⁾
豚のかたまり肉、約 1 kg	160 ~ 180	100 ~ 120 ⁴⁾
豚のかたまり肉、皮付き、約 2 kg	160 ~ 180	130 ~ 160 ⁴⁾
ガモン（ハム）のかたまり肉、約 1 kg	150 ~ 170	60 ~ 80⁴⁾
ミートローフ、約 1 kg	160 ~ 180	60 ~ 70 ⁴⁾
子牛肉、約 1.5 kg	180 ~ 200	80 ~ 100⁴⁾
ラム脚肉、約 1.5 kg	170 ~ 190	90 ~ 120⁴⁾
ラムあばら肉、約 1.5 kg	170 ~ 190	50 ~ 60 ³⁾
鶏肉、0.8-1 kg	180 ~ 200	60 ~ 70
鶏肉、約 2 kg	170 ~ 190	100 ~ 120
詰め物入り鶏肉、約 2 kg	170 ~ 190	110 ~ 130
鶏肉、約 4kg	160 ~ 180	150 ~ 180
魚（丸ごと）、約 1.5 kg	160 ~ 180	35 ~ 55







推奨調理モードは数字が太字で表示されています。





記載されている時間はオーブンを予熱していない場合のものです。

一般的に、温度が範囲で示されている場合は、記載されている最も低い温度を設定して、最も短い調理時間が経過した時点で食材が調理されたかどうかを確認します。

フタをしていない耐熱性の食器でローストする場合の温度です。


ユニバーサルトレイ、あるいはユニバーサルトレイの上にラックをのせて直接ローストする場合は、温度を約 10 °C 低く設定してください。

 ¹⁾			
 [°C]	 [分]	 [°C]	 [分]
—	—	190 ~ 210	110 ~ 140²⁾
—	—	200 ~ 220	45 ~ 55
140 ~ 160	100 ~ 120⁴⁾	150 ~ 170	100 ~ 120 ⁴⁾
160 ~ 180	110 ~ 130 ⁴⁾	180 ~ 200	100 ~ 120⁴⁾
170 ~ 190	130 ~ 160 ⁴⁾	190 ~ 210	130 ~ 160⁴⁾
160 ~ 180	60 ~ 80⁴⁾	170 ~ 190	80 ~ 100 ⁴⁾
170 ~ 190	60 ~ 70 ⁴⁾	190 ~ 210	60 ~ 70⁴⁾
170 ~ 190	90 ~ 110⁴⁾	190 ~ 210	100 ~ 120 ⁴⁾
170 ~ 190	90 ~ 120⁴⁾	200 ~ 220	90 ~ 120 ⁴⁾
—	—	190 ~ 210	50 ~ 60
190 ~ 210	60 ~ 70	190 ~ 210	60 ~ 75 ⁵⁾
180 ~ 200	90 ~ 110	190 ~ 210	90 ~ 110 ⁵⁾
180 ~ 200	100 ~ 120	190 ~ 210	110 ~ 130 ⁵⁾
170 ~ 190	140 ~ 170	180 ~ 200	150 ~ 180
170 ~ 190	35 ~ 55	190 ~ 210	35 ~ 55

 熱風加熱プラス /  オートロースト /  モイスタープラス /  上下加熱

 温度 /  ロースト時間

通常は棚位置 2 を使用します。

- 1) 加熱段階の後、調理が終了するまで、間をおいてスチームを噴射します。
- 2) 初めはフタをしてローストしてください。調理時間が半分経過した後フタを取り、約 1/2 リットルの水を加えてください。
- 3) オープンを予熱してください。点灯している  センサーを押してオフにします。
- 4) 調理時間が半分経過した後で約 1/2 リットルの水を加えてください。
- 5) 棚位置 3 を使用します。

低温調理

低温調理は、牛肉、豚肉、子牛肉、ラム肉を柔らかく仕上げたい場合に最適です。

初めに、コンロで肉の表面をくまなく高温で焼き、肉汁を逃がさないようにします。

次に、肉を予熱したオーブンに入れます。低温で長時間加熱することにより完全に火が通り、しかも非常に柔らかく仕上がります。

肉が緩み、内部の肉汁が均等に行き渡り、外側まで届きます。そのため、とても柔らかくジューシーな仕上がりになります。

ヒント



- 正しくつるされ切り取られた赤身の肉を使用してください。調理前に骨は取り除いてください。
- 表面を焼くために、澄ましバターや植物油などの高温に耐える適切な調理油を使用してください。
- 調理中は、肉にフタをしないでください。

調理時間は2時間から4時間程かかります。肉の大きさ、重さ、焼き加減、お好みの焼き目のつけ具合により変わります。

手順

ユニバーサルトレイの上にラックをのせて使用してください。

オーブンを予熱するために急速加熱を使用しないでください。

- ラックとユニバーサルトレイを棚位置2に置きます。
- 上下加熱を選択し、温度を130℃に設定します。
- 「急速加熱」をオフにするには、点灯しているセンサーを押します。
- ユニバーサルトレイとラックを入れたまま、オーブンを約15分予熱します。
- 予熱中に、コンロで肉の表面をくまなく焼きます。



やけどの恐れがあります。

加熱したオーブンに食材を出し入れしたり、食材を裏返したり、棚を調整したりするときは、耐熱性の鍋つかみをご使用ください。

- 表面を焼いた肉をラックに置きます。

- '三 を押します。

「温度」が強調表示されます。

- OKセンサーを押し、温度を 100℃ まで下げます。
- 調理時間の終了まで調理を続けます。

上記の手順を自動的に完了できるように設定することができます（「オープンの使用・その他の機能」を参照）。

調理後

調理温度および肉の中心温度がとても低いので、以下の利点があります。

- － オープンから出してすぐに肉をカットできます。ねかせる必要はありません。
- － 調理プログラムの終了後に、料理をオープン内に放置しても、調理の仕上がりは変化しません。料理を出すまで保温しておくことができます。
- － オープンから出してすぐの肉は、食べごろの温度になっています。すぐに冷えてしまわないために、温めておいた皿に盛り付け、熱いソースやグレービーをかけてサーブしてください。

調理時間／肉の中心温度

肉の種類	調理時間 [分]	肉の中心 温度** [℃]
サーロイン かたまり肉 －レア	60～90	48
－ミディアム	120～150	57
－ウェルダン	180～240	69
豚ヒレ	120～150	63
ガモン*	150～210	68
子牛鞍下肉*	180～210	63
ラム鞍下肉*	90～120	60

* 骨なし

** 市販のフードプローブ（食品用温度計）を使用して、肉の中心温度を計測した場合。市販のフードプローブを差し込んだままオープンで加熱しないでください。

グリル

 やけどの恐れがあります。

グリルするときは、オーブンのドアを閉めてください。ドアを開けたままの状態グリルすると、熱風がファンで冷却されず、オーブン庫外に流れ出て、操作パネルが熱くなります。

調理モード

グリル

ステーキなどの一枚肉を同時に何枚もグリルするのに適しています。また、大きな焼き料理に軽く焼き目をつけるのに適しています。

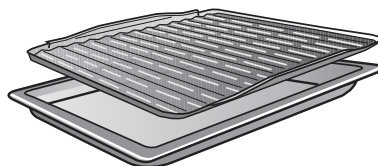
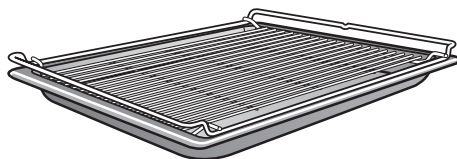
上部ヒーター / グリルヒーターの全体が熱く、赤くなります。

熱風グリル

詰め物をした肉や鶏肉など、厚みのある食材のグリルに最適です。

上部ヒーター / グリルヒーターとファンが交互にオン / オフに切り替わります。

トレイおよびラック



ユニバーサルトレイ上にラックや飛散防止天板（別売り）を使用してください。

調理中の材料から出る汁は、飛散防止天板の下に溜まります。このため、汁が飛び散ってオーブンを汚れることはありません。集まった汁を使って、グレービーソースを作ることができます。

ベーキングトレイは使用しないでください。

グリル早見表に関する注意

温度

原則として、早見表に記載されている一番低い温度に設定してください。高い方の温度を使用すると、肉に焼き目はついて、中まで火が通りません。

予熱

グリル開始前にドアを閉じた状態で約5分予熱します。

棚位置

食材の厚みに応じて、棚位置を選択します。

- 薄切り肉：棚位置 3 または棚位置 4
- 厚みのある肉：棚位置 1 または棚位置 2

グリル時間

- 魚の切り身や肉のスライスなどは、通常片面 6～8 分を目安にします。厚みのあるもの場合はこれより時間が少しかかります。同時にグリルする食材の厚さは、できるだけ同じにし、調理時間がまちまちにならないようにします。
- グリルの途中で食材を裏返します。

肉の火の通り具合の確認

切り身の肉の火の通り具合をみるには、スプーンを押し付けてみます。

レア： スプーンを押し返す力がかなり弱ければ、中は生に近い状態です。

ミディアム：いくぶん押し返す力があれば、半ば火が通っている状態です。

ウェルダン：押し返す力が強ければ、完全に火が通っている状態です。

最も短い調理時間が経過した時点で、肉が調理されたかどうかを確認します。

ヒント

厚めの肉の表面は焼けていても中心がまだ生の場合、温度を下げるか棚位置を下げてじっくりグリルすると、中までじっくり火が通ります。

グリル

グリルする食材の下ごしらえ

肉を切ります。肉汁が出てしまうためグリルする前に塩はふりません。

赤身の肉には、必要に応じ少量の油を加えます。

バターやラードなどの油脂類は、燃えて煙が出たりするため使用しないでください。

魚は通常の方法で洗います。うまみを出すために魚に少量の塩かレモン汁をかけると良いでしょう。

グリル

- ユニバーサルトレイにラックや飛散防止天板（別売り）をのせます。
- その上に食材をのせます。
- 必要な調理モードと温度を選択します。
- グリル開始前にドアを閉じた状態で約5分予熱します。



やけどの恐れがあります。

加熱したオーブンに食材を出し入れしたり、食材を裏返したり、棚を調整したりするときは、耐熱性の鍋つかみをご使用ください。

- 食材を適切な棚位置に置きます（「グリル早見表」を参照）。
- ドアを閉めます。
- グリルの途中で食材を裏返します。

グリル早見表

推奨調理モードは数字が太字で表示されています。

特に明記していない限り、グリル開始前にドアを閉めた状態で約5分予熱します。

調理時間の途中で食材を裏返します。

最も短い調理時間が経過した時点で、食材を確認します。

グリルする材料	5 1	☐☐☐		☐☐☐	
		🌡️ [°C]	⌚ [分]	🌡️ [°C]	⌚ [分]
薄切り					
ビーフステーキ	4	275	15 ~ 22	220	15 ~ 20
ビーフバーガー ¹⁾	4	300	15 ~ 22	—	—
ケバブ	3	275	25 ~ 30	220	25 ~ 30
チキンケバブ	4	275	20 ~ 25	220	12 ~ 16
ポークチョップ	4	275	15 ~ 20	220	17 ~ 23
レバー	4	275	8 ~ 12	220	12 ~ 15
ハンバーグ	4	275	13 ~ 18	220	18 ~ 22
ソーセージ	4	275	12 ~ 18	220	13 ~ 19
魚の切り身	4	275	20 ~ 25	220	13 ~ 18
マス	4	275	16 ~ 20	220	20 ~ 25
トースト ¹⁾²⁾	3	300	5 ~ 10	220	7 ~ 10
チーズトースト	3	275	10 ~ 15	220	10 ~ 15
トマト	4	275	6 ~ 10	220	8 ~ 10
桃	4	275	6 ~ 10	220	15 ~ 20
厚切り					
鶏肉、約 1.2 kg ³⁾	1	220	60 ~ 70	190	60 ~ 70
豚肉、約 1 kg	1	—	—	190	95 ~ 100
サーロイン、ヒレ、約 1 kg	2	—	—	250	35 ~ 45

☐☐☐ グリル / ☐☐☐ 熱風グリル / ☐☐☐⁵ 棚位置 / 🌡️ 温度 / ⌚ グリル時間

1) グリル ☐☐☐ を使用した場合、この設定は、EN 60350 に従った試験にも適合します。


2) 上部ヒーター／グリルヒーターを予熱しないでください。

3) 熱風グリル ☐☐☐ には棚位置 2 を使用します。


その他の調理方法

その他のプログラム

ジェントルベーキング

ベーキング  プログラムは、肉の調理に最適です。

温度は100℃から250℃まで設定できます。


-  を選択します。
- 「ジェントルベーキング」を選択し、必要であれば推奨温度を変更します。

ディスプレイの指示に従います。

以下の表はベーキングの例です。

食材	 [°C]	 [分]
ハム ロースト 約 1.5 kg	180	130 ~ 160
牛肉の蒸し煮 約 1.5 kg	180	160 ~ 180

 温度

 調理時間

記載されている時間はオーブンを予熱していない場合のものです。

食材の高さに応じて、棚位置 1 あるいは棚位置 2 を使用します。

一般的に、温度が範囲で示されている場合は、記載されている最も低い温度を設定して、最も短い調理時間が経過した時点で食材が調理されたかどうかを確認します。


初めはフタをしてローストしてください。

ロースト時間の 4 分の 3 が経過したらフタを取り、約 500ml の水を加えてください。


解凍

解凍機能を使用して、冷凍食材を徐々に解凍します。

温度は 25℃ から 50℃ まで設定できます。

-  を選択します。
- 「解凍」を選択します。
- 必要であれば推奨温度を変更し、解凍時間を設定します。
- ディスプレイの指示に従います。

空気が庫内を循環し、食材を徐々に解凍します。

 サルモネラ中毒の恐れがあります。

鶏肉を解凍する場合は、衛生的な方法で行うことが特に大切です。鶏肉から解け出た汁気は調理に使用しないでください。汁気を捨て、トレイ、シンク、手をよく洗ってください。

ヒント

- できるだけ包装は取り除き、解凍する食材をユニバーサルトレイまたは適切な皿に入れます。
- 鶏肉を解凍する場合は、ユニバーサルトレイの上ののせたラックにのせて解凍します。溶け出した汁気に肉が浸らないようにします。
- 魚は調理前に完全に解凍する必要はありません。表面にハーブを振りかけたり、味付けできる程度にまで解凍されていれば十分です。

解凍時間

解凍に必要な時間は、食材の重量、種類、冷凍温度によって異なります。以下の表の時間は目安です。食材が完全に解凍されているかを必ず確認することが重要です。

冷凍食材	重量 [g]	解凍時間 [分]
鶏肉	800	90 ~ 120
肉	500	60 ~ 90
	1000	90 ~ 120
ソーセージ	500	30 ~ 50
魚類	1000	60 ~ 90
イチゴ	300	30 ~ 40
バターケーキ	500	20 ~ 30
パン	500	30 ~ 50

その他の調理方法

乾燥

このプログラムは、食材を乾燥させて保存する伝統的な方法のためのものです。

温度は 80 °C から 100 °C まで設定できます。


乾燥させる果物や野菜は、熟しており、傷がないことが重要です。

■ 乾燥させる食材の準備


- ー リンゴは皮をむき芯を抜いて、厚さ 0.5 cm にスライスします。
- ー プラムは必要であれば種を取ります。
- ー ナシは皮をむき芯を抜いて、V 字型に厚く切ります。
- ー バナナは皮をむきスライスします。
- ー マッシュルームは洗って半分に切るかスライスします。
- ー パセリやディルは茎を取ります。

■ 食材をユニバーサルトレイ上に均等に並べます。

ラックや穴あきユニバーサルトレイも使用できます。

-  を選択します。
- 「乾燥」を選択します。
- 必要に応じて推奨温度を変更し、乾燥時間を設定します。
- ディスプレイの指示に従います。

食材	乾燥時間
果物	2 ~ 8 時間
野菜	3 ~ 8 時間
ハーブ類*	50 ~ 60 分

* このプログラムではファンを使用するので、ハーブ類の乾燥には上下加熱  を使用し、温度を 80 °C から 100 °C に設定してください。

- 庫内に結露が発生した場合は、温度を下げてください。



やけどの恐れがあります。

乾燥したハーブをオープンから取り出すときは、耐熱性の鍋つかみをご使用ください。

- 果物や野菜を乾燥させた後は、冷えるまで時間をおきます。

ドライフルーツは完全に乾燥し、しかも柔らかく弾力がなければなりません。

- 密封性のある缶や瓶に保存します。


温め直し

このプログラムは、蒸気を利用して皿盛り料理を温め直すためのものです。

以下の食材を選択できます。

- ー 肉料理野菜添え
- ー 肉料理ポテト添え
- ー 肉料理ダンプリング添え
- ー 肉料理パスタ添え
- ー 魚料理野菜添え
- ー 魚料理ポテト添え
- ー 野菜のグラタン
- ー パスタのグラタン
- ー パスタ（ソースつき）
- ー ピザ
- ー ソース添ラゲール

耐熱性の食器を使用してください。

- 温め直す食材を食器に入れてラックに置きます。フタをししないでください。
-  を選択します。
- 「温め直し」を選択し、必要であれば推奨温度を変更します。
- ディスプレイの指示に従います。


 やけどの恐れがあります。

料理をオープンから取り出すときは、オープン用鍋つかみをご使用ください。熱いお湯が食器の下部に溜まる場合があります。

イースト生地発酵

このプログラムは、蒸気を加えずにイースト生地を発酵させるためのものです。

温度は 30℃ から 50℃ まで設定できます。

-  を選択します。
- 「イースト生地発酵」を選択します。
- 必要であれば推奨温度を変更し、発酵時間を設定します。
- ディスプレイの指示に従います。


蒸気を加えながらイースト生地を発酵させる場合は、適切な自動プログラムを選択してください。

その他の調理方法

ピザ

このプログラムは、ピザを焼くためのものです。

温度は160℃から250℃まで設定できます。


-  を選択します。
- 「ピザ」を選択します。
- 必要であれば推奨温度を変更し、加熱時間を設定します。
- ディスプレイの指示に従います。


食器あたため

このプログラムは、食器を温めるためのものです。

温度は50℃から80℃まで設定できます。

耐熱性の食器を使用してください。

- ラックを棚位置2に置き、予熱する食器をラックに置きます。
-  を選択します。
- 「食器あたため」を選択します。
- 必要であれば推奨温度を変更し、加熱時間を設定します。
- ディスプレイの指示に従います。

 やけどの恐れがあります。
食器をオープンから取り出すときは、オープン用鍋つかみをご使用ください。

- ディスプレイの指示に従います。

冷凍食品・加工食品

ヒント

ケーキ・ピザ・バゲット

- ー ケーキ、ピザ、バゲットのような大きな冷凍食品は、ベーキングトレイやユニバーサルトレイ上に大きな面積を占めます。大きな冷凍食品をこれらのトレイにのせて加熱すると、トレイがゆがみ、熱いうちはオーブンから取り外せなくなってしまうです。このような使用を続けると、ゆがみがひどくなります。このようなことが起こらないように、ベーキングペーパーを敷いたラックの上で加熱します。
- ー 各食品の包装に記載されている推奨温度の中で、最も低い温度を使用してください。

フライドポテト・コロッケ等の加熱

- ー フライドポテトのような小さな食品は、ベーキングトレイやユニバーサルトレイ上で調理できます。徐々に加熱されるように、ラックの上にベーキングペーパーを敷いてください。
- ー 各食品の包装に記載されている推奨温度の中で、最も低い温度を使用してください。
- ー 調理中に何度か裏返します。

方法

健康のため、食材を適切な状態に調理することが大切です。

ケーキ、ピザ、フライドポテトなどは、ほどよいきつね色に焼き、焦がさないように注意してください。

- 各食品の包装に記載されている調理モード、推奨温度を使用してください。
- オーブンを予熱します。
- 各食品の包装に記載されている棚位置に食品を置きます。
- 各食品の包装に記載されている、最も短い調理時間が経過した時点で、食品を確認します。

掃除とお手入れ



やけどの恐れがあります。

オーブンのヒーターがオフになっており、庫内が冷えていることを確認してください。



けがの恐れがあります。

本製品を掃除するときは、スチームクリーナーは絶対に使用しないでください。蒸気が電気部品に達してショートの原因になることがあります。

本製品の外面は、不適切な洗剤に触れると、表面が変形または変色することがあります。

オーブנקリーナーやカルキ除去剤は、特にオープン前面を損傷させます。

掃除の後に洗剤の残りがついていたら、すぐに取り除いてください。

本製品の外面は、傷つきやすい材質でできています。ガラス表面についた傷は破損の原因にもなりますので注意してください。

不適切な洗剤

本製品の損傷を防ぐため、以下のものは使用しないでください。

- － ナトリウム化合物、アンモニア、酸、塩素系漂白剤を含む洗剤
- － カルキ除去剤を含む洗剤(オープン前面に)
- － 粉末またはクリーム状の研磨剤
- － 溶剤を含む洗剤
- － ステンレス用の洗剤
- － 食器洗い機用クリーナー
- － ガラス用の洗剤
- － セラミックヒーター用の洗剤
- － 研磨剤を付けて使用したことのある、たわし、ブラシ、スポンジなどの、硬い研磨用ブラシおよびスポンジ
- － メラミン製おそうじ用消しゴム
- － 尖った金属べらなど
- － スチールたわし
- － しみ落とし
- － オープン用クリーナー*
- － ステンレス製スチールパッド*

* これらのものはひどい汚れをパーフェクトクリーン加工が施された表面から取り去る場合は使用できます。

汚れを放置しておくくと落とせなくなる可能性があります。

定期的にお掃除をしないで継続的にオーブンを使用すると、汚れを落とすことがさらに困難になります。

そのため、汚れはご使用のたびに落とすことをお勧めします。

付属品は食器洗い機では洗えません。

ヒント

- 吹きこぼれた果汁やケーキの生地などの汚れは、オーブンやトレイが温かいうちに取り除くようにします。オーブンは熱くないことを確認してください。やけどの恐れがあります。
- 庫内を楽に掃除するために、オーブンドアを分解し、棚受けを取り外し、FlexiClip（フレキシクリップ）が付いている場合は取り外し、上部ヒーター／グリルヒーターを下げます。

普通の汚れ

オーブンのドアの周囲は、ファイバーガラス製のシールで保護されており、このシールは非常に傷つきやすいです。

破損のリスクがあるので洗わないでください。

- 普通の汚れは、きれいなスポンジとお湯に溶かした食器用台所洗剤、または湿らせたマイクロファイバークロスで取り除きます。
- 汚れを落としたあとは、洗剤が残らないようにきれいな水でよくすすぎます。特にパーフェクトクリーン加工面では、残った洗剤によって汚れがこびり付きにくい性質が損なわれる恐れがあります。
- 洗淨した後は、柔らかい布で表面を拭き取ります。

掃除とお手入れ

頑固な汚れ（FlexiClip を除く）


吹きこぼれた果汁やローストの肉汁によって表面が変色したままになったり、部分的につやが落ちてしまうことがあります。変色したままになっても、ほうろうの効果に影響はありません。これらの変色箇所を無理に消し取ろうとしないでください。これらの汚れは、本取扱説明書の指示に従って掃除してください。

- 焼きついてしまった付着物は、ガラススクレーパーか研磨作用のないスチールパッドを使用します。
- パーフェクトクリーンほうろう加工についた非常に頑固な汚れは、オーブנקリーナーを使用して掃除できます。パーフェクトクリーン加工面が室温に下がってから、パッケージの指示に従ってオーブנקリーナーを使用してください。

市販のオーブנקリーナーは、冷えたオーブンに対してのみ使用できます。使用時間は最大 10 分です。

- キッチン用スポンジの裏側の硬いパッドを使用して汚れを落とすことができます。
- 掃除の後に、オーブנקリーナーの残りをよく水ですすぎ、柔らかい布で拭き取ります。

オープン庫内の熱洗浄（パイロリティック）

オープンを手でお掃除する代わりに、熱洗浄（パイロリティック）を使用できます。

熱洗浄（パイロリティック）中、オープンは約 400 °C以上まで加熱されます。これにより、庫内に残った汚れは熱分解されて灰になります。

本製品では、洗浄時間の異なる 3 レベルの熱洗浄（パイロリティック）を設定できます。

以下の 3 レベルより選択します。

- － レベル 1、軽い汚れ用
- － レベル 2、ひどい汚れ用
- － レベル 3、非常にひどい汚れ用

安全性のため、熱洗浄（パイロリティック）が開始すると同時にドアが自動的にロックされます。

ドアは、プログラムの完了時まで開けることができません。

例えば、電気代の安い夜間に熱洗浄（パイロリティック）を行うよう、タイマーを使用してプログラム開始時間を設定できます。

熱洗浄（パイロリティック）の終了後、残ったくずや灰は、簡単に拭き取れます。

熱洗浄（パイロリティック）の設定

熱洗浄（パイロリティック）に対応していない付属品は、熱洗浄（パイロリティック）中に発生する熱により破損します。

熱洗浄（パイロリティック）の開始前に、それらの付属品をオープン庫内から取り出してください。これは熱洗浄（パイロリティック）に対応していないオプション品でも同様です。

以下の付属品は熱洗浄（パイロリティック）に対応しており、オープンから取り外す必要はありません。

- － 棚受け
- － FlexiClip（フレキシクリップ）HFC72
- － コンビラック HBBR72

■ 熱洗浄（パイロリティック）に対応していない付属品をオープンからすべて取り出します。

■ コンビラックを一番高い棚位置に置きます。

ひどい汚れが残っていると、煙が発生し、熱洗浄（パイロリティック）が停止する場合があります。

■ 熱洗浄（パイロリティック）の開始前に、ひどい汚れがある場合は、取り除いてください。


掃除とお手入れ

熱洗浄（パイロリティック）の開始

 やけどの恐れがあります。

熱洗浄（パイロリティック）中、オープンのドアは通常の使用時よりもさらに高温になります。

お子様が、熱洗浄（パイロリティック）中のオープンに触れないように十分注意してください。

- 熱洗浄（パイロリティック） を選択します。

熱洗浄（パイロリティック）のレベルを選択します。現在選択されているオプションが強調表示されます。

- 必要なレベルを選択します。

- OK センサーを押します。

ディスプレイの指示に従います。

- OK センサーを押します。

「すぐに開始」

熱洗浄をすぐに開始する場合は、以下の手順を実行します。

- 「すぐに開始」を押します。

- OK センサーを押します。


熱洗浄（パイロリティック）が開始されます。


ドアが自動的にロックされます。

ヒーター、冷却ファンが自動的にオンに切り替わります。

熱洗浄（パイロリティック）の間、照明は点灯しません。

熱洗浄（パイロリティック）の残り時間がディスプレイに表示されます。残り時間を変更することはできません。

熱洗浄（パイロリティック）の実行中に同時にキッチンタイマーを設定した場合、キッチンタイマーが終了するとアラーム音が鳴り  記号が点滅します。そして、ディスプレイに時間がカウントアップ表示されます。

 センサーを押すと、アラーム音が止まり、表示も消えます。

「後で開始」

熱洗浄（パイロリティック）を後で開始する場合は、以下の手順を実行します。

- 「後で開始」を押します。

- OK センサーを押します。

- 熱洗浄（パイロリティック）を開始する時刻を設定します。

- OK センサーを押します。

ドアが自動的にロックされます。

設定した開始時刻がディスプレイに表示されます。

開始時刻になると、ヒーター、冷却ファンが自動的にオンになります。残り時間がディスプレイに表示されます。

熱洗浄（パイロリティック）の終了時

残り時間が 00:00h になると、ドアのロックが解除されたことを知らせるメッセージがディスプレイに表示されます。

ドアロックの解除時には、以下のようになります。

- － 「プロセス終了」とディスプレイに表示されます。
- － アラーム音が鳴るように設定されている場合は、アラーム音が鳴ります（「設定」－「アラーム音」を参照）。

- オープンをオフにします。

表示および音がオフになります。



やけどの恐れがあります。

熱洗浄（パイロリティック）で残ったくずや灰の拭き取り作業は、オープンが冷めてから行ってください。

- 熱洗浄（パイロリティック）で残ったくずや灰を取り除き、付属品についたくずを拭き取ります。出る灰の量は、オープンの汚れ具合により異なります。

きれいな湿らせたマイクロファイバークロスやお湯に少量溶かした食器用台所洗剤をつけたきれいなスポンジで、たいいていの汚れは簡単に落とせます。

オープンの汚れ具合によっては、ドアの内側のガラス板に汚れの層が見えることがあります。研磨作用のないキッチン用スポンジの裏側や、ステンレス製スチールパッドに少量の食器用台所洗剤を使用して取り除きます。

- 熱洗浄（パイロリティック）の終了後、FlexiClip（フレキシクリップ）を何度か出し入れします。

注意

- － オープン前面の周囲をおおうファイバーガラス製のシールは、取り扱いに注意してください。こすったりしないでください。このシールを掃除することは極力避けてください。
- － 熱洗浄（パイロリティック）の終了後、FlexiClip（フレキシクリップ）が変色して見えたり、その一部が光って見えたりすることがあります。これは FlexiClip（フレキシクリップ）の機能にまったく影響ありません。
- － 吹きこぼれた果汁によって、ほうろう面が変色したままになることがあります。変色したままになっても、ほうろうの効果に影響はありません。これらの変色箇所を無理に消し取ろうとしないでください。

掃除とお手入れ

熱洗浄（パイロリティック）がキャンセルされた場合

熱洗浄（パイロリティック）がキャンセルされても、庫内の温度が 280 °C 未満に下がるまで、ドアロックは解除されません。

熱洗浄（パイロリティック）は、以下の状況で停止します。

- － オープンをオフにする場合
- － 別のプログラムを選択する場合
- － 停電の場合

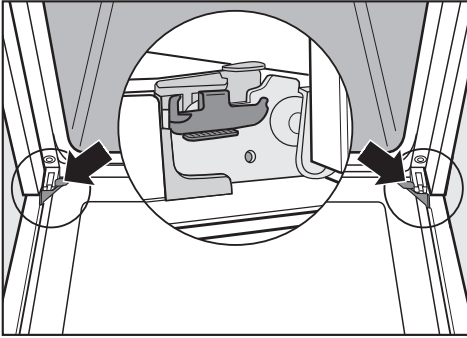
庫内の温度が 280°C 未満に下がると、ドアロックが解除されたというメッセージがディスプレイに表示されます。

ドアロックの解除時には、以下ようになります。

- － 「プログラム終了」とディスプレイに表示されます。
- － アラーム音が鳴るように設定されている場合は、アラーム音が鳴ります（「設定」－「アラーム音」を参照）。

熱洗浄（パイロリティック）を再開することができます（「熱洗浄（パイロリティック）の開始」を参照）。再開しなければ、オープンはオフになります。

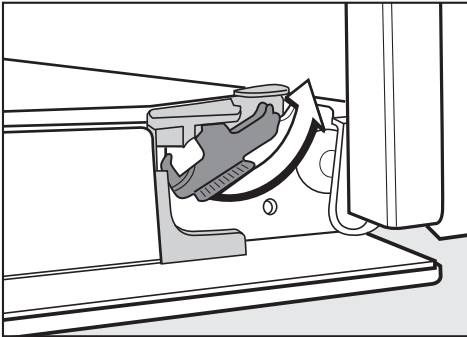
オープンドアの取り外し



オープンのドアは、固定具でヒンジに接続されています。

左右のヒンジストッパーを解除してから、固定具からドアを取り外します。

- ドアを完全に開きます。

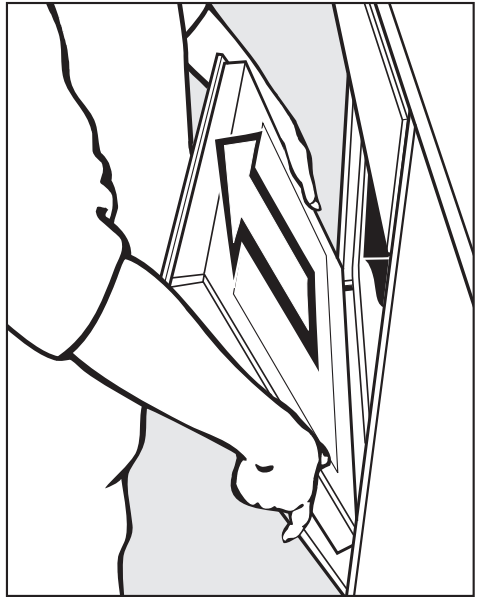


- 左右のヒンジストッパーの解除は、矢印の方向に、止まるところまで回します。

ドアが水平になっているときに、固定具から取り外そうとしないでください。ばねでストッパーが閉じ、本体に損傷を与えます。

取っ手を持ってドアを固定具から取り外そうとしないでください。取っ手が壊れることがあります。

- ドアを、止まるところまで上方向に持ち上げます。



- ドアの両側をしっかりと持ち、上方向に持ち上げて固定具から外します。まっすぐに取り外すように気を付けてください。

掃除とお手入れ

オーブンドアの分解

オーブンドアは 4 枚のガラス板で構成されています。ガラス板の表面には熱を反射する被膜が施されている部分があります。ドアには通気口があります。

オーブンの作動中は、外側のガラス板が高温にならないよう空気がオーブンドアを通過します。

ガラス板の間に汚れが溜まった場合は、ドアを分解して掃除することができます。

傷はガラスが割れる原因にもなりますので、特に気をつけてください。

ガラス板の掃除には、研磨剤、硬いスポンジやブラシ、尖った金属のスクレイパー類を使用しないでください。

ガラス板の掃除の前に、本製品の前面を掃除する場合の一般的な注意事項をお読みください。

ガラス板の表裏には、異なる被膜が施されており、庫内側の面には、熱を反射する被膜が施されています。掃除の後には、ガラス板を正しい向きに挿入してください。

オープン用スプレーの使用により、アルミの縁取りの表面が損なわれる場合があります。

掃除に使用できるのは、お湯に少量溶かした食器用台所洗剤をつけたきれいなスポンジ、あるいはきれいな湿らせたマイクロファイバークロスだけです。

ドアの分解後は、ガラス板を割らないよう、特に注意してください。

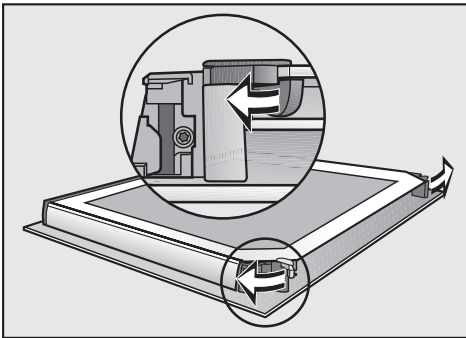
掃除とお手入れ



けがの恐れがあります。

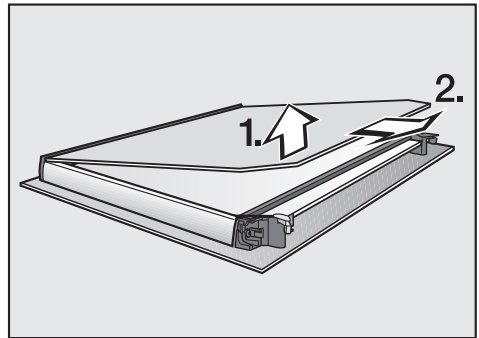
分解清掃をするときは、必ずオーブドアを取り外してください。

- 傷がつかないように、ふきんなどを敷いたテーブルの上にドアを置きます。取っ手がテーブルの端に沿うように置きます。清掃中に破損しないように、ガラスの板がぴったりつくように置きます。

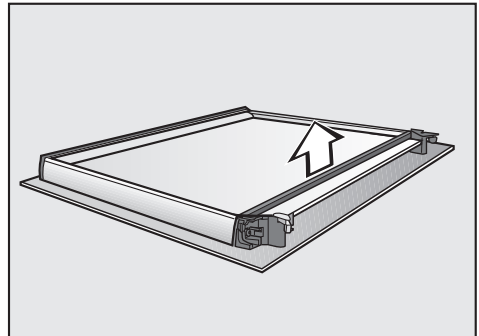


- ガラス板の固定具を外側に向けて開きます。

これで、内側のガラス板と 2 枚の中間板を取り外せます。

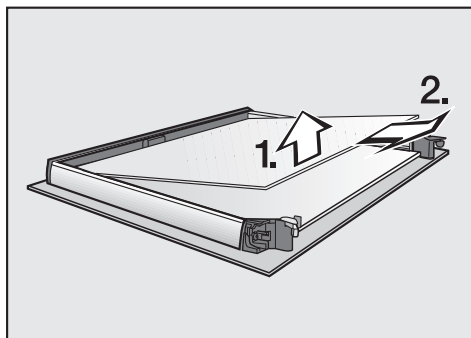


- 静かに内側のガラス板を持ち上げ、プラスチックの縁から取り外します。

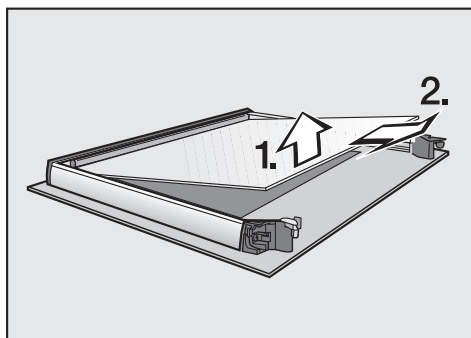


- ガラスファイバーシールを外します。

掃除とお手入れ



- 2枚の中間板のうち、上の中間板を静かに持ち上げ、取り外します。

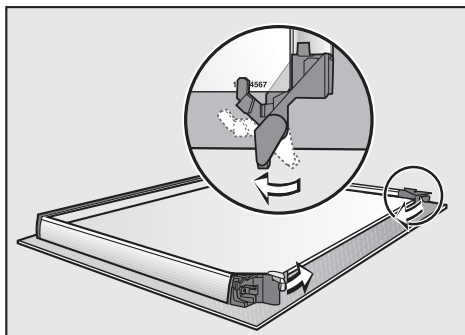


- 2枚の中間板のうち、下の中間板を静かに持ち上げ、取り外します。
- きれいなスポンジとお湯に溶かした食器用台所洗剤や、湿らせたきれいなマイクロファイバークロスで、ドアのガラス板とその他の部品を掃除します。
- すべての部品を柔らかい布で拭き取ります。

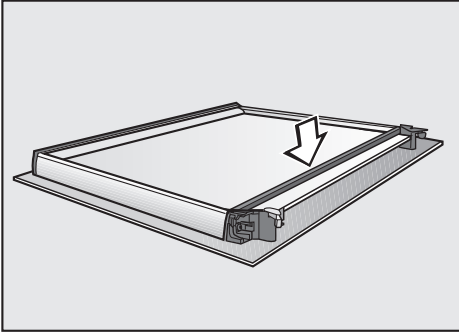
掃除の後に、ドアを注意深く組み立てます。

2枚の中間板は同じものです。
正しく組み立て直すことができるように、
中間板には部材番号が印刷されています。

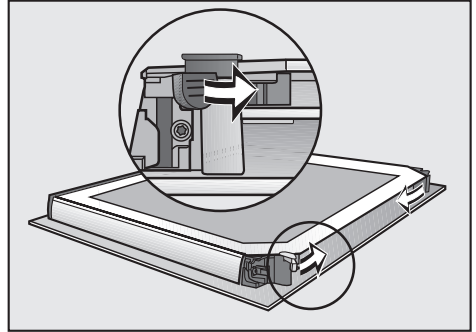
- 2枚の中間板のうち、下の中間板を部材番号が読み取れるように配置します。



- ガラス板の両側の固定具を、下の中間板にはまるように、内側に向けて回します。
- 2枚の中間板のうち、上の中間板を部材番号が読み取れるように配置します。
ガラス板は固定具の上に乗せます。

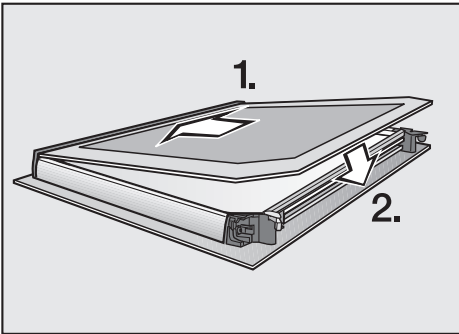


- ガラスファイバーシールを元に戻します。



- ガラス板の固定具を内側に向けて閉じます。

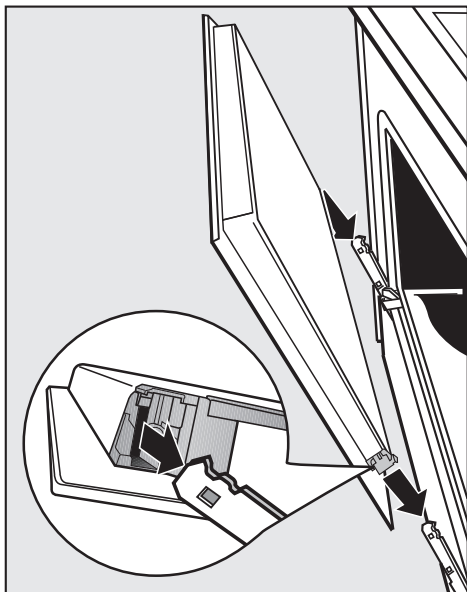
ドアの組み立てが終わり、オープンに元どおりに固定できるようになりました。



- 内部のガラス板を、つやのない面を下にしてプラスチックの縁に押し込み、固定部にはめ込みます。

掃除とお手入れ

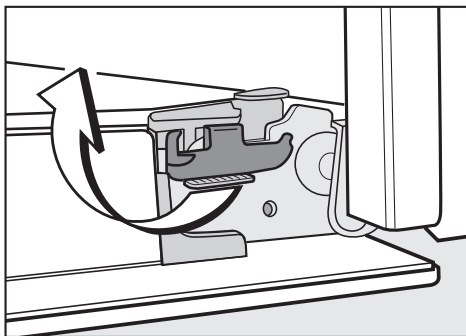
オーブドアの取り付け



- ドアの両側をしっかりと持ち、ヒンジ固定具に差し込みます。

- ドアを完全に開きます。

掃除後にドアを取り付けるときは、ストッパーがしっかりロックされていることが重要です。しっかりロックされていないと、ドアが固定具からはずれ、壊れることがあります。



- 左右のストッパーを下方方向に、水平になるまで回し、ロックします。

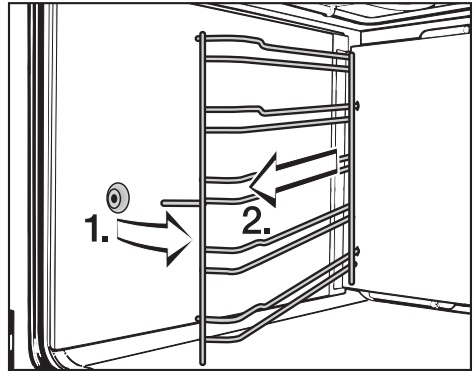
FlexiClip (フレキシクリップ) と 棚受けの取り外し

! けがの恐れがあります。
棚受けを取り外したまま、オーブンを使用
しないでください。

FlexiClip (フレキシクリップ) が取り付けら
れている場合は、棚受けと一緒に取り外す
ことができます。

前もって別々に FlexiClip (フレキシクリ
ップ) を取り外す場合は、「機能の説明」－
「FlexiClip (フレキシクリップ) の取り付け・
取り外し」に記載された指示に従ってくだ
さい。

! やけどの恐れがあります。
オーブンのヒーターがオフになっており、
冷えていることを確認してください。




- 前面側の棚受けをホルダーから取り出
し (1)、棚受けをオーブンから引き出し
ます (2)。

取り付けは、逆の手順で行います。

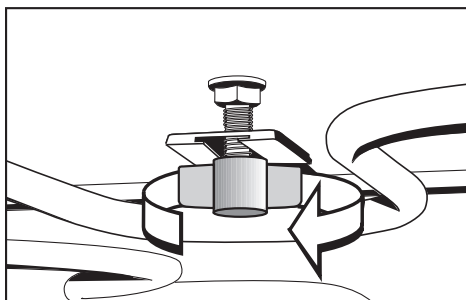
- すべての部品が正しく取り付けられて
いることを確認してください。

掃除とお手入れ

上部ヒーター・グリルヒーターの引き下げ

 やけどの恐れがあります。
オープンヒーターがオフになっており、冷えていることを確認してください。

- 棚受けを取り外します。



- ウィングナットをゆるめます。

上部ヒーター／グリルヒーターは無理に引き下げないでください。破損する可能性があります。

- 上部ヒーター／グリルヒーターを注意深く引き下げます。

オープンの天井を掃除できるようになりました。

- 上部ヒーター／グリルヒーターを引き上げ、ウィングナットをきちんと締めます。
- 棚受けを取り付けます。

スチーム噴射システムのカルキ除去

カルキ除去を実行するタイミング

カルキ除去の頻度は、お住まいの地域の水の硬度により異なります。

カルキ除去はいつでも実行できます。

ただし、オープンが正しく作動するように、オープンを一定回数使用するとカルキ除去の実行を促すメッセージが自動的に表示されます。

カルキ除去まであと 10 回しかオープンを使用できなくなると、メッセージが表示されます。ディスプレイに回数が「0」までカウントダウン表示されます。回数が「0」になると、蒸気を利用した調理モードや自動プログラムは使用できなくなります。

カルキ除去を実行するまで、それらの機能は使用できません。

蒸気を利用しない調理モードや自動プログラムは使用できます。

カルキ除去プログラムの順序

カルキ除去を開始したら、最後まで完了させる必要があります。キャンセルはできません。

カルキ除去プログラムは約 90 分かかり、以下の段階に分かれています。

1. 準備
2. カルキ除去剤溶液の取り込み
3. 活性化段階
4. すすぎ 1
5. すすぎ 2
6. すすぎ 3
7. 残った水の蒸発

掃除とお手入れ

準備

本製品に付属のカルキ除去剤を使用することをお勧めします。これらはミーレ製品に最適なカルキ除去ができるように開発されています。

他の種類のカルキ除去剤には、クエン酸以外の酸や、例えば塩化物のような望ましくない物質が含まれており、オーブンを損傷させることがあります。
また、カルキ除去剤溶液が適切な濃度でない場合は、十分なカルキ除去効果が保障されません。

ミーレのカルキ除去剤はミーレよりお求めいただけます。または Web サイト (www.miele-store.jp) からご購入いただけます。

約 1 リットルの容量がある容器を用意してください。


本製品には、吸引キャップ付きのプラスチックチューブが付属しており、給水パイプの下でカルキ除去剤を入れた容器を押さえておく必要はありません。


- プラスチックチューブの口を容器の底につけ、吸引キャップで固定します。

カルキ除去剤を混ぜる比率に関する指示に注意深く従ってください。比率を間違えると、オーブンが損傷する恐れがあります。

- 冷たい水道水約 600ml に、カルキ除去剤 1 錠を溶かします。

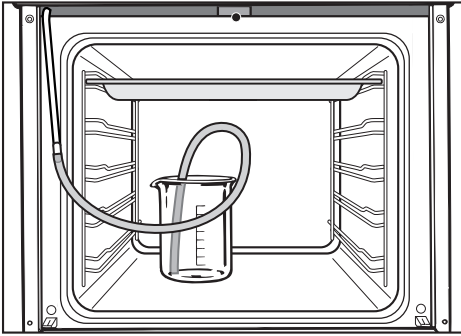
カルキ除去の実行

- ①  を選択します。
- ② 「カルキ除去」が強調表示されるまで、一覧をスクロールします。
- ③ OK センサーを押します。

モイスタープラス  や、蒸気を使う自動プログラムがすでにロックされている場合は、OK センサーを押すことで、直ちにカルキ除去プログラムを開始できます。

活性化段階に関する指示がディスプレイに表示されます。

- ④ 使用済みのカルキ除去剤溶液を溜めるため、ユニバーサルトレイを一番上の棚位置に奥まで挿し入れます。
- ⑤ メッセージを確認し、OK センサーを押します。



- ⑥ カルキ除去剤溶液を入れた容器を、プラスチックチューブと一緒にオープンの底面に置きます。
- ⑦ プラスチックチューブの片方の口を給水パイプに取り付けます。
- ⑧ ドアを閉めます。
- ⑨ OK センサーを押します。

水の取り込みが始まります。処理中はポンプ音が聞こえます。

水の取り込みはOKセンサーを押すことで、いつでも中断や再開ができます。

指定される溶液の量は、実際に取り込まれる量よりも多くなります。そのため、オープン庫内にすべて取り込まれず、容器内に少量の溶液が残ります。

水の取り込みが終わると、メッセージがディスプレイに表示されます。

- ⑩ OK センサーを押します。

活性化段階が始まります。残り時間がカウントダウン表示されます。

- ⑪ ドアを開けます。
- ⑫ 容器はそのまま、チューブが給水パイプにつながった状態にしておきます。活性化段階中、システム内にさらに水が取り込まれるため、容器に約 300 ml の水を追加します。
- ⑬ ドアを閉めます。

約 5 分間隔で、さらに水がシステム内に取り込まれます。しばらくポンプの作動音が聞こえます。

アラーム音が鳴るように設定されている場合は、活性化段階の終了時にアラーム音が鳴ります(「設定」－「アラーム音」を参照)。

掃除とお手入れ

スチーム噴射システムにカルキ除去剤溶液が残らないように、**活性化段階の最後**にスチーム噴射システムを洗浄する必要があります。

洗浄を行うには、新しい水道水約 1 リットルでシステム内を洗い流します。すすぎ後の水がユニバーサルトレイに溜まります。すすぎは 3 回繰り返します。

すすぎの処理に関する指示がディスプレイに表示されます。

- 14 オープンからユニバーサルトレイを取り出し、溜まった水を捨てます。トレイをオープンが一番上の棚位置に戻します。
- 15 プラスチックチューブを容器から外します。
- 16 容器をすすぎ、新しい水道水約 1 リットルを注ぎます。
- 17 容器をオープン内に戻し、プラスチックチューブを入れて固定し、ドアを閉めます。
- 18 OK センサーを押します。

最初のすすぎに使用する水の取り込みが始まります。

水はスチーム噴射システム内を洗い流し、ユニバーサルトレイに溜まります。

2 回目のすすぎの処理に関するアドバイスがディスプレイに表示されます。

- 19 オープンからユニバーサルトレイを取り出し、溜まった水を捨てます。トレイをオープンが一番上の棚位置に戻します。
- 20 プラスチックチューブを容器から外します。容器をすすぎ、新しい水道水約 1 リットルを注ぎます。
- 21 容器をオープン内に置き、プラスチックチューブを入れて固定し、ドアを閉めます。
- 22 OK センサーを押します。
- 23 同じ手順を繰り返し、**3 回目のすすぎ**を行います。


蒸発処理中は、(3 回目のすすぎの水が溜まっている)ユニバーサルトレイを一番上の棚にそのまま置いておきます。

- 24 容器とプラスチックチューブをオープンから取り出します。

25 ドアを開めます。

26 OK センサーを押します。

残った水を蒸発させるプロセスが始まります。

 やけどの恐れがあります。

残った水の蒸発処理中にオープンのドアを開けないでください。

オープンのヒーターがオンになります。蒸発処理の残り時間がディスプレイにカウントダウン表示されます。

蒸発処理の間、残っている水の量に応じて残り時間が変化することがあります。


蒸発処理の終了時に、カルキ除去後の庫内の掃除に関する指示がディスプレイに表示されます。

27 OK センサーを押します。

アラーム音が鳴るように設定されている場合は、アラーム音が鳴ります（「設定」－「アラーム音」を参照）。

「プロセス終了」とディスプレイに表示されます。

28 オープンをオフにします。

 やけどの恐れがあります。

オープンが冷めてから庫内や付属品を洗ってください。

29 ユニバーサルトレイを取り出し、溜まった水を捨てます。オープン庫内を掃除し、結露や残ったカルキ除去剤を取り除きます。

オープン庫内が完全に乾くまで、オープンドアを閉めないでください。

こんなとき、どうしたらいい？




ここでは、弊社コンタクトセンターにお問い合わせいただく前に、軽度のトラブル（誤った操作によるものを含む）を解決するヒントを説明します。ここに記載された手順を実施しても解決できない場合は、弊社コンタクトセンターまでお問い合わせください（連絡先は最終ページをご覧ください）。



けがの恐れがあります。

設置、メンテナンス、および修理は適切な認定を受けた有資格者が行う必要があります。無資格者による修理などは危険です。



正規の修理技術者以外による作業によって生じた損害は、保証対象外となります。ご自身でオープンのケースを開けたりしないでください。

問題	考えられる原因と解決方法
画面が表示されない。	時刻表示がオフに設定されています。時刻はオープンをオンにしないとディスプレイに表示されません。時刻を常に表示させることもできます（「設定」－「現在時刻」－「表示」を参照）。
	電気がオープンに供給されていません。 ■ プレーカー（ヒューズ）が落ちていないかどうかを確認します。落ちている場合、電気の有資格者または弊社コンタクトセンターにご連絡ください。
プログラムを選択すると、「システムロック  」とディスプレイに表示される。	システムロック  が作動中です。 OKセンサーを6秒以上押すことにより、システムロックが解除され、調理プログラムを実行できるようになります。システムロックを常に停止させておくことができます（「設定」－「安全機能」－「システムロック  」を参照）。


こんなとき、どうしたらいい？

問題	考えられる原因と解決方法
オーブンが加熱しない。	<ul style="list-style-type: none"> ■ デモモードが「オン」に設定されていないかどうかを確認します(「設定」-「ショールームプログラム」を参照)。 デモモードがオンに設定されている場合、オーブンは作動しますが加熱はしません。 <ul style="list-style-type: none"> ■ デモモードを停止します。
「停電プログラムが中断されました。」とディスプレイに表示される。	停電が発生し、そのために進行中のプログラムが停止しました。 <ul style="list-style-type: none"> ■ オープンをオフにして、再度オンにします。調理プログラムを再開します。
「12:00」とディスプレイに指示される。	200 時間以上の停電が起きました。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 日付と時刻を再設定します。
「最大運転時間に達しました」と突然ディスプレイに表示される。	オープンが異常に長い時間作動し続けており、切り忘れ防止機能が作動しました。 <ul style="list-style-type: none"> ■ OK センサーを押します。↵ を押して、「プログラム終了」の表示を消します。オーブンが使用できるようになります。
「故障：F32」とディスプレイに表示される。	熱洗浄（パイロリティック）のためのドアがロックされていません。 <ul style="list-style-type: none"> ■ オープンをオフにして、再度オンにします。再度、熱洗浄（パイロリティック）を開始します。 再度ディスプレイに表示される場合は、弊社コンタクトセンターにご連絡ください。


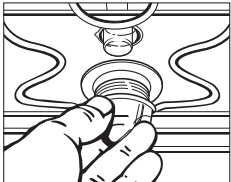
こんなとき、どうしたらいい？

問題	考えられる原因と解決方法
「故障：F33」とディスプレイに表示される。	<p>熱洗浄（パイロリティック）のドアロックが解除されていません。</p> <p>■ オープンをオフにして、再度オンにします。</p> <p>それでもドアロックが解除されない場合は、弊社コンタクトセンターにご連絡ください。</p>
「  故障 XX」とディスプレイに表示される。	<p>お客様では解決できない問題が発生しました。</p> <p>■ 弊社コンタクトセンターにご連絡ください。</p>
モイスタープラス  または「カルキ除去」機能を選択すると、「この機能は現在使用不可です」とディスプレイに表示される。	<p>スチーム噴射システムが故障しています。</p> <p>■ 弊社コンタクトセンターにご連絡ください。</p>
自動プログラムを選択すると、「湿度制御エラー – モイスター機能なしで自動プログラムが作動しています。」とディスプレイに表示される。	<p>スチーム噴射システムが故障しています。</p> <p>■ 弊社コンタクトセンターにご連絡ください。</p> <p>自動プログラムはスチーム噴射なしで作動できます。</p>
蒸気を利用したプログラムが、水を取り込まない。	<p>デモモードが「オン」に設定されています</p> <p>オープンはデモモードで使用できますが、スチーム噴射システムのポンプは作動しません。</p> <p>■ デモモードを停止します（「設定」 – 「ショールームプログラム」を参照）。</p>

こんなとき、どうしたらいい？

問題	考えられる原因と解決方法
調理プログラムが終わった後にノイズが聞こえる。	調理プログラムの終了後も冷却ファンが作動しつづけます（「設定」－「冷却ファン作動」を参照）。
ラックやその他の付属品の出し入れ時に変な音がする。	棚受けには熱洗浄（パイロリティック）に耐性のある加工が施されており、付属品の出し入れ時に摩擦音がします。摩擦音を小さくするには、熱耐性のある調理油をキッチンペーパーに数滴つけて拭き、棚受けを滑りやすくします。熱洗浄（パイロリティック）が終わるたびに、この手順を繰り返します。
オーブンの電源が切れる。	<p>オーブンがオンになって、あるいは調理プログラムが終了して一定時間内に何もアクションがなければ、省エネのためにオーブンは自動的にオフになります。</p> <p>■ オープンを再度オンにします。</p>
ベーキング早見表の時間が経過してもケーキやクッキーが焼けていない。	<p>レシピに記載されている温度と異なる温度が使用されています。</p> <p>■ レシピに記載されている温度を選択します。</p>
	<p>レシピに記載されている量と異なる量の材料が使用されています。</p> <p>■ レシピを再確認します。水分や卵の量を増やすと、生地水分が増すので、焼き時間を長くしなければなりません。</p>
焼きむらがある。	<p>誤った温度、あるいは誤った棚位置を選択しています。少々の焼きむらが出るのは異常ではありません。焼きむらのはげしい場合は、設定温度および棚位置が正しいかどうかを確認します。</p>
	<p>ベーキング容器の材質や色が選択した調理モードに適していません。上下加熱  には、明るい色の型、光沢のある型はあまり適していません。光沢のない、暗い色の型を使用します。</p>

こんなとき、どうしたらいい？

問題	考えられる原因と解決方法
オープン照明がすぐにオフになる。	オープン照明は、15秒後にオフになるように設定されています（初期設定）。この初期設定は変更できます（「設定」－「照明」を参照）。
照明がつかない。	<p>庫内灯のハロゲンランプを交換する必要があります。</p> <div data-bbox="415 427 1031 555" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p> やけどの恐れがあります。オープンのヒーターがオフになっており、冷えていることを確認してください。</p></div> <ul style="list-style-type: none">■ 本製品から電源を遮断します。 <div data-bbox="415 660 645 842" style="text-align: center;"></div> <ul style="list-style-type: none">■ 庫内灯カバーを反時計回りに 1/4 回転し、シールと一緒に下方向に引っ張って外します。■ 新しいハロゲンランプに交換します。■ 庫内灯カバーをシールと一緒に元に戻し、時計回りに回して固定します。■ 本製品を電源に接続し直します。

アフターサービス・型式表示シール

ご自分では修理できない故障が生じた場合や、本製品が保証期間中の場合は、下記にお問い合わせください。

- － ミーレ販売代理店
- － ミーレ・ジャパンコンタクトセンター

連絡先の情報は本取扱説明書の最終ページをご覧ください。

コンタクトセンターにお問い合わせになる場合、型式表示シールに記載された、ご使用の機器の型番と製造番号をお知らせください。

- 修理受付および製品に関するご相談や使い方についてのお問い合わせは、月一金（土日祝を除く）の9:00から17:30までとさせていただきます。

電源接続

電源接続

電気配線等の作業は、すべて厳正に国および地域の電気設備基準にしたがって適任の有資格者が行わなければなりません。

無資格者による設置、修理、その他の工事は危険です。当社は、無許可の工事の責任は負いかねます。

設置または修理作業が完了するまで、本製品の電源を切っていることを確認してください。

本製品は必ず正しく設置してから使用してください。すべての電気部品を確実に遮へいするには正しく設置する必要があります。充電部は露出させないでください。

本製品を延長コードで電源と接続しないでください。延長コードを使用した場合、本製品の安全性は保証されません。

電圧、定格消費電力、周波数については、型式表示シールに記載してあります。これらの数値が屋内の主電源に一致していることを確認してください。

本製品の接続は、必ず電気設備基準に合ったブレーカーを経由して行ってください。

<重要>

単相三線式 200V 20A（アース付）専用コンセントコードにて納品されます。

コンセントの形状を確認の上、確実に接続してください。

<警告>

本製品は、必ず接地（アース）してください。

<重要>

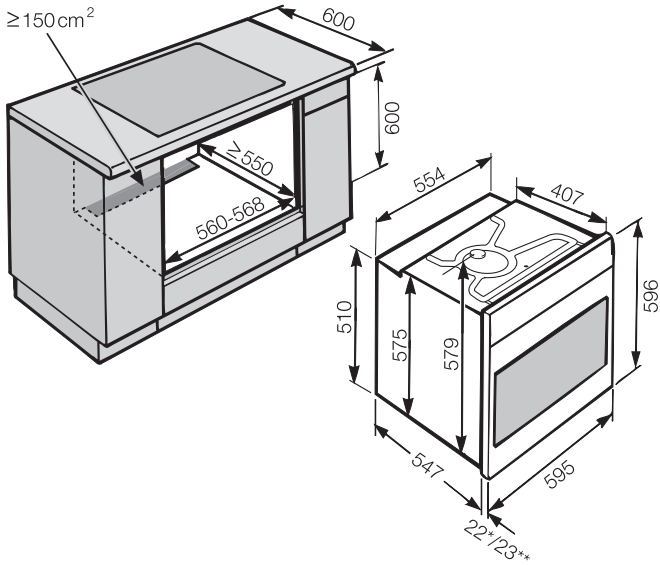
本製品の電氣的安全性は、電気設備基準に合った有効な接地を行って初めて約束できます。この基本的な安全基準を電気工事がテストすることはとても重要なことです。感電などの不十分な接地の結果に対する製造者責任は負いかねます。

直接的または間接的に、不正な設置や接続が行われた場合の被害・損害に対しては、いずれの場合も製造者責任を負いかねます。

本製品および設置場所の寸法

寸法は mm 単位

アンダーカウンターの設置

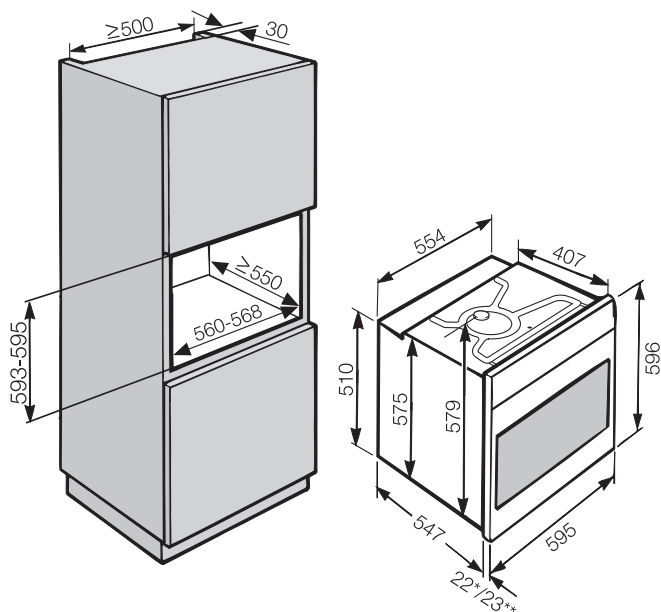


* 前面がガラスのオープン

** 前面が金属のオープン

取り付け図

トールユニットの設置

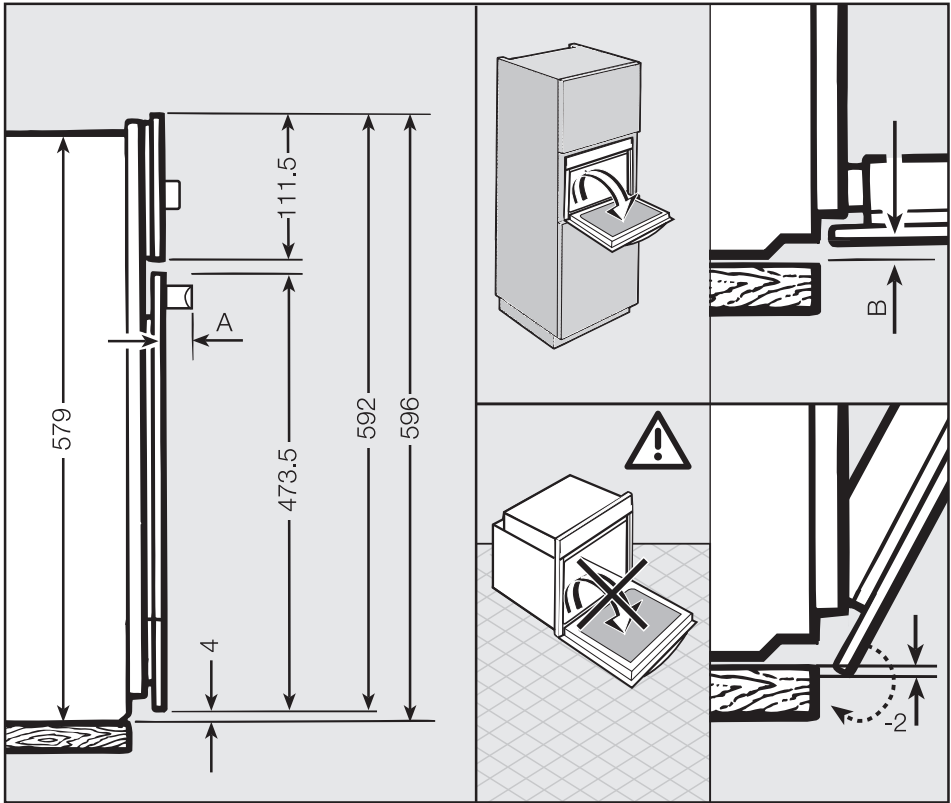


* 前面がガラスのオープン

** 前面が金属のオープン

前面の寸法

寸法は mm 単位



A 42 mm

B 前面がガラスのオープン : 2.2 mm

前面が金属のオープン : 1.2 mm

オーブンの設置

! 本製品は、設置キャビネットに正しく設置してから作動させてください。

正しく機能するために、オーブンには冷気を適切に供給する必要があります。

冷気の供給が妨げられないようにしてください。

- ー 設置キャビネットに、背板を取り付けないでください。
- ー オーブンを置く棚が壁面に接触しないように注意してください。
- ー 設置キャビネット内に、断熱材を貼らないでください。

また、薪ストーブといった他の熱源により、冷気が過度に加熱されないようにしてください。

設置の前に

- オーブンを電源に接続する前に、ブレーカーをオフにします。

取り付け

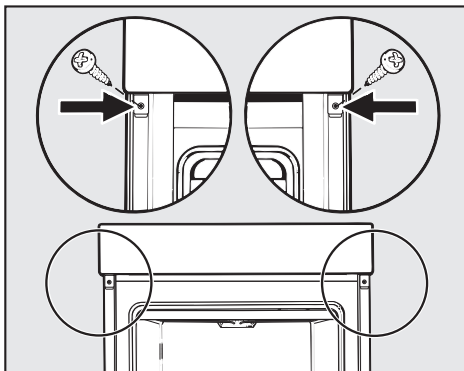
- オーブンを電源に接続します。

ドアの取っ手を持って製品を持ち上げないでください。ドアが損傷します。側面両側にある取っ手を使用してください。

本製品の設置前に、オーブンドアを取り外し（「掃除とお手入れ」－「オーブンドアの取り外し」を参照）、オーブン内部の付属品を取り外すことを推奨します。これにより設置が容易になります。

また、誤ってドアの取っ手を持って製品を運ぶこともなくなります。

- オーブンを設置キャビネットに押し込み、位置を調節します。
- ドアを開けます（あらかじめドアを取り外していない場合）。



- 付属している2本のネジを、オーブンの縁にある穴を通して設置キャビネットの側壁に固定します。
- オーブンドアを取り外してある場合は、ドアを元どおりに固定します（「掃除とお手入れ」－「オーブンドアの取り付け」を参照）。



愛情点検

長年ご使用の電気オープン(point)の点検を!

ご使用の際、
このようなことはありませんか

- スイッチを入れてもときどき運転しない時がある
- 運転中に異常な音や振動がする
- 本体ケースが変形していたり、異常に熱い
- 電気オープンにさわるとビリビリ電気をを感じる
- その他の異常や故障がある



● 使用を中止してください ●

このような場合、事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差し込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対になさらないでください。

ご不明な点は下記までお問い合わせください。

ミーレ・ジャパン株式会社

コンタクトセンター 固定電話からはフリーダイヤル ☎ 0120-310-647
携帯電話・PHSからはナビダイヤル ☎ 0570-096-300

〒153-0063 東京都目黒区目黒2-10-11 目黒山手プレイス

www.miele.co.jp

H6461BP



ja - JP

M.-Nr. 09 896 000 / 01